
資 料

1 歴代教育委員等一覧

氏名	期間
原 清 七	S27. 11. 1 ~ S31. 9. 30
酒 井 環	S27. 11. 1 ~ S31. 9. 30
高 橋 規 策	S27. 11. 1 ~ S30. 4. 17
中 野 林 八	S27. 11. 1 ~ S31. 9. 30
吉 田 重 男	S27. 11. 1 ~ S32. 4. 30
関 久	S27. 11. 1 ~ S38. 1. 5
大 沼 藤 雄	S30. 4. 1 ~ S31. 9. 30
湯 浅 順 次	S30. 4. 1 ~ S31. 9. 30
肥 田 野 才 之 丈	S30. 4. 1 ~ S31. 9. 30
加 藤 清 吉	S30. 4. 1 ~ S31. 9. 30
田 卷 精 二	S30. 4. 1 ~ S31. 9. 30
森 俊 童	S30. 4. 1 ~ S31. 9. 30
佐 藤 精 一	S30. 4. 1 ~ S31. 9. 30
肥 田 野 文 治	S31. 10. 4 ~ S34. 6. 29
高 沢 敬 信	S31. 10. 4 ~ S37. 10. 5
増 田 大 秀	S31. 10. 4 ~ S37. 5. 12
川 瀬 新 太 郎	S32. 5. 20 ~ S34. 10. 3
栗 林 米 造	S34. 6. 30 ~ S41. 3. 31
梨 本 彦 一 郎	S34. 10. 30 ~ S38. 10. 28
戸 石 政 恕	S37. 9. 29 ~ S43. 10. 3
井 上 美 一 郎	S37. 10. 5 ~ S45. 10. 3
高 沢 哲 史	S38. 7. 9 ~ S48. 10. 3
石 山 平 四 郎	S38. 12. 19 ~ S46. 12. 18
大 森 清 太 郎	S41. 4. 1 ~ S43. 10. 3
阿 部 修 一	S43. 10. 4 ~ S51. 10. 3
吉 田 久 平	S44. 3. 1 ~ S52. 2. 28
北 条 文 雄	S46. 6. 29 ~ S52. 11. 30
渡 辺 義 平	S46. 12. 24 ~ S54. 3. 31
宮 村 太 郎	S50. 6. 27 ~ S54. 6. 26
尾 谷 新 三	S51. 12. 15 ~ S58. 7. 27
高 橋 恂 三 郎	S52. 3. 5 ~ S60. 3. 4
山 口 哲 夫	S53. 3. 3 ~ S54. 6. 28
高 橋 剛	S54. 6. 29 ~ S62. 6. 28
佐 藤 泰 彦	S54. 6. 28 ~ S62. 6. 27
本 間 不 二 夫	S54. 12. 24 ~ S62. 12. 23

氏名	期間
熊 倉 竜 夫	S58. 9. 13 ~ S63. 12. 14
渡 辺 秀 晃	S61. 4. 1 ~ H 6. 3. 31
長 谷 川 真 智 子	S62. 6. 29 ~ H 7. 6. 28
桂 重 房	S62. 6. 28 ~ H 7. 6. 27
芥 藤 斌	S62. 12. 24 ~ H 7. 12. 23
内 山 格	S62. 12. 15 ~ H 8. 12. 14
鈴 木 明 夫	H 6. 4. 1 ~ H11. 3. 31
佐 久 間 明 三	H 7. 6. 29 ~ H15. 6. 28
中 村 弘 正	H 7. 6. 29 ~ H15. 6. 28
樋 口 義 健	H 7. 12. 24 ~ H11. 12. 23
桂 宏	H 8. 12. 15 ~ H17. 7. 6
白 井 茂 夫	H11. 4. 1 ~ H15. 6. 30
増 子 哲 夫	H11. 12. 14 ~ H15. 12. 23
大 久 保 久	H15. 6. 29 ~ H19. 6. 28
大 滝 昇	H15. 7. 1 ~ H22. 11. 30
関 根 信 行	H15. 7. 7 ~ H17. 7. 6
高 山 威 彦	H16. 4. 1 ~ H20. 3. 31
小 泉 茂	H17. 7. 7 ~ H19. 7. 6
中 野 俊	H17. 7. 7 ~ H19. 6. 30
山 田 真 嗣	H19. 7. 1 ~ H23. 3. 31
中 村 直 美	H19. 7. 7 ~ H23. 7. 6
今 井 延 子	H19. 6. 29 ~ H23. 6. 28
岸 本 正 智	H20. 4. 1 ~ H24. 3. 31
塚 野 純 一	H22. 12. 27 ~ H25. 2. 28
鈴 木 佳 秀	H23. 4. 1 ~ H27. 3. 31
籠 島 由 美 子	H23. 7. 7 ~ H27. 7. 6
外 山 陽 子	H23. 6. 29 ~ H29. 3. 31
大 山 康 一	H25. 3. 8 ~ H27. 3. 31
関 川 直	H24. 4. 1 ~
桑 原 ヒ サ 子	H27. 4. 1 ~
笠 原 恭 子	H27. 7. 7 ~
小 池 庸 子	H29. 4. 1 ~

歴代教育委員長

氏名	期間
原 清 七	S27. 11. 1 ~ S29. 11. 14
高橋 規 策	S29. 11. 15 ~ S30. 4. 17
吉田 重 男	S30. 4. 18 ~ S31. 10. 3
関 久	S31. 10. 4 ~ S37. 10. 4
梨本 彦一郎	S37. 10. 16 ~ S38. 10. 28
戸石 政 恕	S38. 11. 11 ~ S43. 10. 3
井上 美一郎	S43. 10. 7 ~ S45. 10. 3
吉田 久 平	S45. 10. 9 ~ S46. 10. 8 S48. 10. 4 ~ S50. 10. 3
高沢 哲 史	S46. 10. 11 ~ S48. 10. 3
北条 文 雄	S50. 10. 4 ~ S52. 11. 16
高橋 恂三郎	S52. 11. 17 ~ S54. 3. 21
尾谷 新 三	S54. 3. 22 ~ S58. 7. 27
佐藤 泰 彦	S58. 8. 10 ~ S62. 6. 27
本間 不二夫	S62. 6. 28 ~ S62. 12. 23
斉 藤 斌	S62. 12. 28 ~ H 7. 12. 23
中村 弘 正	H 7. 12. 26 ~ H15. 6. 28
大久保 久	H15. 6. 29 ~ H19. 6. 28
山田 真 嗣	H19. 7. 11 ~ H22. 12. 16
岸本 正 智	H22. 12. 17 ~ H24. 3. 31
関 川 直	H24. 4. 6 ~ H27. 3. 31

歴代教育長

氏名	期間
酒 井 環	S27. 11. 1 ~ S31. 9. 30
肥田野 文治	S31. 10. 4 ~ S34. 6. 29
栗林 米 造	S34. 6. 30 ~ S41. 3. 31
石山 平四郎	S41. 4. 1 ~ S46. 12. 18
吉田 久 平	S47. 1. 1 ~ S47. 7. 31
渡辺 義 平	S47. 8. 1 ~ S54. 3. 31
高橋 恂三郎	S54. 4. 1 ~ S60. 3. 4
本間 不二夫	S60. 4. 1 ~ S62. 3. 31
渡辺 秀 晃	S62. 4. 1 ~ H 6. 3. 31
鈴木 明 夫	H 6. 4. 2 ~ H11. 3. 31
臼井 茂 夫	H11. 4. 1 ~ H15. 6. 30
大 滝 昇	H15. 7. 1 ~ H22. 11. 30
塚野 純 一	H22. 12. 27 ~ H25. 2. 28
大 山 康 一	H25. 3. 8 ~ H27. 3. 31

新教育委員会制度（平成27年4月改正）施行後

氏名	期間
大 山 康 一	H27. 4. 1 ~ H30. 3. 31
山田 亮 一	H30. 4. 1 ~ H30. 10. 17
工藤 ひとし	H31. 4. 1 ~

2 各種委員

(1) 新発田市同和教育推進協議会委員

(任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日)

選出区分	氏名	備考
第1号委員 (学識経験者)	駒澤 一彦	
	小柳 龍史	
	高橋 加代子	
	村岡 一人	
	大川原さとみ	
	寺尾 ちはる	
	渡辺 睦夫	
	井畑 悦子	
	本間 栄一	
第2号委員 (小中学校長・高等学校長)	天井 弘	住吉小学校長
	小野沢 謙一	七葉小学校長
	本間 道夫	猿橋中学校長
	野澤 一吉	七葉中学校長
	藤井 聡	御免町小学校長(小学校長会長)
	佐藤 政志	第一中学校長(中学校長会長)
	中戸 義文	新発田高等学校長
第3号委員 (社会教育関係団体役員)	加藤 ノリ	新発田女性会議
	伊藤 和彦	小・中学校PTA連合会
第4号委員 (市行政関係職員)	伊藤 正仁	人権啓発課長
	萩野 喜弘	学校教育課長

(2) 新発田市いじめ防止対策等に関する委員会委員

(任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日)

氏名	専門分野	役職等	備考
中川 雅博	法律	弁護士	
有田 正知	精神保健	医師	
伊藤 信行	社会福祉	新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部 児童・障害者相談センター所長	平成31年4月1日 就任
猪股 博英	教育	元・中学校校長	平成31年4月1日 就任
寺野 徹	社会福祉	新発田市社会福祉協議会事務局長	
井越 信行	青少年健全育成	青少年健全育成センター所長	

(3) 新発田市文化財調査審議会委員

(平成31年4月1日～令和3年3月31日)

	氏名	専門分野	職業等	備考
学 識 経 験 者	伊藤 喜行	歴史	新発田郷土研究会会員	再任
	大沼 長栄	歴史・古文書	新発田古文書解読研修会会長	再任
	佐藤 榮征	歴史・古文書	新発田郷土研究会会員	再任
	鈴木 耕一	歴史・古文書	紫雲寺古文書の会会長	新任
	時田 一雄	建造物	短期大学校教授	再任
	松川 滋子	美術・工芸	工芸作家、元美術教師	再任
	宮崎 芳春	民俗・考古	元博物館館長	再任
	若林 泰子	美術	市内美術協会会員	再任

(4) 新発田市立図書館協議会委員

(令和元年7月1日～令和3年6月30日)

選出区分	氏名	備考
学校教育関係	三村 孝志	川東中学校長
	関川 紀美子	佐々木小学校長
社会教育関係	嶋谷 次郎八	図書館後援会会長
	加藤 康雄	社会教育委員
学 識 経 験 者	高澤 健爾	新発田商工会議所専務理事
	富川 尚	敬和学園大学教授
	神田 良子	新発田市立図書館利用者友の会副代表
	前田 恵子	新発田古文書解読研修会幹事
	中野 富江	加治川読書クラブ会長
	宇賀村 由美子	おはなしのとびら代表

(5) 新発田市社会教育委員

(令和元年6月1日～令和3年5月31日)

氏名	法区分	備考
田中 範克	学校教育関係者	小学校長会
星 和富	学校教育関係者	中学校長会
桐生 正栄	社会教育関係者	青少年育成
佐藤 謙介	社会教育関係者	P T A 連合会等
大久保 美幸	家庭教育	家庭教育・子育て等
富川 尚	学識経験者	大学教授等
淡路 勲	学識経験者	社会教育主事
加藤 康雄	学識経験者	前新潟県社会教育委員

(6) 新発田市公民館運営審議会委員

(令和元年6月1日～令和3年5月31日)

氏名	法区分	備考
星 徹	学校教育関係者	小学校長会
伊 藤 啓 子	社会教育関係者	文化団体
鈴 木 光 子	家庭教育	家庭育成・子育て等
伊 東 陽 一	学識経験者	元豊浦地区公民館長
芦 田 隆	学識経験者	元紫雲寺地区公民館長
中 村 明	学識経験者	新発田地区公民館利用者
若 林 泰 子	学識経験者	新発田地区公民館利用者
木 滑 二十子	学識経験者	豊浦地区公民館利用者
平 野 マリ子	学識経験者	加治川地区公民館利用者

(7) 新発田市民文化会館運営審議会委員

(平成30年4月1日～令和2年3月31日)

選出区分	氏名	備考
社会教育関係団体	井 上 隆	ミュージックファンクラブ
	小 島 慎 二	新発田ジャズ倶楽部
	石 川 美佐子	新発田市合唱連盟
	能 仲 咲 子	ファイア・オ・カフラしばた教室
文化団体	五十嵐 ミネ	豊浦地区文化団体
	増 田 千穂子	紫雲寺地区文化団体
	佐 藤 キヌ	加治川地区文化団体
学識経験者	星 和 富	佐々木中学校長
	小野沢 謙 一	七葉小学校長
行政関係者	野 崎 光 晴	新発田地域広域事務組合

(8) 新発田市青少年問題協議会委員

(令和元年度)

選出区分	氏名	所属等
会長(市長)	二階堂 馨	新発田市長
1号委員(副市長)	下 妻 勇	新発田市副市長
2号委員(教育長)	工 藤 ひとし	新発田市教育長
3号委員(関係行政機関の長) 4名	中 村 富士夫	新発田警察署長
	阿 部 俊 幸	新発田地域振興局健康福祉環境部長
	大 滝 晃	新潟地方法務局新発田支局長
	伊 藤 信 行	新発田児童相談所長
4号委員(学識経験者) 10名	佐 藤 雄 二	西新発田高等学校長(高等学校長会)
	新 保 英 博	新発田市立東中学校長(中学校長会)
	長 谷 川 等	新発田市立中浦小学校長(小学校長会)
	小 出 隆 一	新発田青少年健全育成市民会議会長
	寺 野 徹	新発田市自治会連合会副会長
	金 子 幸 一	新発田市小中学校PTA連合会理事
	山 田 ユ ウ	新発田市少年補導委員会副会長
	高 橋 次 夫	新発田市民生委員児童委員連合会長
	皆 川 美 枝	豊浦地区青少年健全育成協議会評議員
	松 田 優 子	紫雲寺地区青少年健全育成協議会運営委員

(9) 新発田市青少年健全育成センター運営審議会委員

(令和元年度)

選出区分	氏名	役職名
1号委員(関係行政機関の職員) 2名	嘉 代 征 未	新発田警察署生活安全課長
	長 沢 京 子	新発田地域振興局健康福祉環境部副部長
2号委員(関係団体の役員) 5名	若 月 美 晃	新発田青年会議所副理事長
	石 山 結	新発田市小中学校PTA連合会理事
	小 出 隆 一	新発田青少年健全育成市民会議会長
	山 田 ユ ウ	新発田市少年補導委員会副会長
	櫻 井 賢 七	新発田地区交通安全協会副会長
3号委員(学識経験者) 3名	片 桐 隆	新発田市自治会連合会長
	菅 チ エ	紫雲寺地区青少年健全育成協議会運営委員
	大川原 さとみ	加治川地域子育てクラブ会長
4号委員(小中学校・高等学校の校長又は教頭) 2名	星 涉	加治川中学校長
	佐 藤 雄 二	新潟県立西新発田高等学校長
5号委員(児童民生委員) 2名	高 橋 次 夫	新発田市民生委員児童委員連合会会長
	栗 山 弥 生	新発田市民生委員児童委員連合会児童副部長
6号委員(社会福祉協議会の役員)	田 中 利 光	新発田市社会福祉協議会副会長

(10) 新発田市少年補導委員会委員

(令和元年度)

	氏名	備考		氏名	備考
1	山田 ヌウ		23	高橋 健太	外ヶ輪小
2	今井 眞津子		24	河村 佳伸	猿橋小
3	坂田 キミ		25	高澤 元	御免町小
4	長谷川 稔		26	斉藤 進一	二葉小
5	熊谷 千恵子		27	川上 直樹	東小
6	澤村 陽一		28	藤井 政明	住吉小
7	鈴木 光子		29	五日市 美穂	東豊小
8	白井 光徳		30	中村 康子	本丸中
9	斉藤 博司		31	本保 逸彦	第一中
10	河原 民子		32	緒形 建策	猿橋中
11	井上 りつ子		33	藤間 善徳	東中
12	渡邊 文代		34	高澤 慎	豊浦中
13	桐生 正栄		35	内藤 満	紫雲寺中
14	山口 幸雄		36	石井 仁	加治川中
15	畠山 孝三郎		37	杉本 秀紀	新発田高
16	田代 隆子		38	大谷 隆史	西新発田高
17	三部 武三		39	藤田 桂	新発田南高
18	渡邊 悟		40	西 大郎	新発田農高
19	中山 真由美		41	籠島 覚	新発田商高
20	藤間 淑則		42	石黒 吉晴	新発田中央高
21	齋藤 富美子				
22	福島 清行				

3 学校教育関係団体一覧

団体名	代表者氏名	事務局	
		所在地	幹事氏名
新発田市小学校長会	藤井 聡	外ヶ輪小学校	井上 正裕
		猿橋小学校	澁谷 一男
		二葉小学校	長谷川 恵
		川東小学校	田中 範克
		七葉小学校	小野 沢謙一
		佐々木小学校	関川 紀美子
		東豊小学校	高橋 祐二
新発田市中学校長会	佐藤 政志	七葉中学校	野澤 一吉
新発田市小学校教頭会	吉田 直彦	七葉小学校	脇川 恭子
		中浦小学校	田村 稔
新発田市中学校教頭会	長井 稔	第一中学校	伊藤 真哉
		加治川中学校	小田 暢雄
新発田市立学校教育研究協議会	澁谷 一男	猿橋小学校	吉田 直彦
新発田市立幼稚園教育研究会	岩村 晶子	加治川幼稚園	山吹 絵里子
新発田市小学校教育研究会	井上 正裕	外ヶ輪小学校	五十嵐 潤
新発田市中学校教育研究会	本間 道夫	猿橋中学校	清野 正康
新発田市小学校体育連盟	高橋 祐二	東豊小学校	五十嵐 俊一
新発田市中学校体育連盟	伊藤 信行	本丸中学校	五十嵐 匠
新発田地区学校警察等連絡協議会	新保 英博	東中学校	藤間 善徳
新発田市小学校図書館協議会	関川 紀美子	佐々木小学校	星野 郁子
新発田市中学校図書館協議会	三村 孝志	川東中学校	成瀬 和貴
三市北蒲原郡特別支援教育推進地区協議会	工藤 ひとし	市教委事務局	飯塚 進
新発田市特別支援教育推進委員会	工藤 ひとし	市教委事務局	飯塚 進
学校保健会新発田支部	佐藤 政志	市教委事務局	萩野 喜弘
新発田市学校給食運営協議会	川村 尚史	市教委事務局	笹木 美智子
三市北蒲原郡地区理科教育センター	小坂井 博	生涯学習センター	安村 敏彦
新発田教科書センター	萩野 喜弘	市教委事務局	藤原 靖也
新発田市小・中学校PTA連合会	池田 智昭	川東小学校	富田 一志
新発田市教育支援委員会	工藤 ひとし	市教委事務局	飯塚 進
新発田市同和教育推進協議会	駒澤 一彦	市教委事務局	齋藤 文美生

4 市立教育施設一覧

幼稚園

(R1.5.1現在)

学番	学校名	所在地	電話番号	学級数	園長氏名	副園長氏名
1	にしぞの 西園幼稚園 (休園中)	住吉町 1-7-6	22-4635	0	伊藤ひろみ	—
2	ごめんまち 御免町幼稚園	大栄町 4-5-17	22-4536	3	伊藤 恵子	—
3	かじかわ 加治川幼稚園	下小中山 322-1	33-2745	1	岩村 晶子	山吹絵里子

小学校

(R1.5.1現在)

学番	学校名	所在地	電話番号	学級数	校長氏名	教頭氏名
1	とがね 外ヶ輪小学校	中央町 5-8-9	22-2549	18	井上 正裕	五十嵐 潤
2	さるはし 猿橋小学校	中曾根町 3-8-29	22-2123	29	澁谷 一男	吉田 直彦
3	ごめんまち 御免町小学校	大栄町 4-5-33	22-2216	25	藤井 聡	佐藤 健
4	ふたば 二葉小学校	中田町 3-6-1	22-2164	14	長谷川 恵	小林 由明
5	ひがし 東小学校	五十公野 4862	22-3641	17	村川 潤一	須貝 克徳
6	かわひがし 川東小学校	下羽津 1938	25-2009	10	田中 範克	富田 一志
7	すがたに 菅谷小学校	繁山 70	29-2018	7	濱田 浩昭	前田 哲
8	ななは 七葉小学校	黒岩 66	29-3305	10	小野沢謙一	脇川 恭子
9	ささき 佐々木小学校	則清 856	27-2011	8	関川紀美子	加藤 義隆
10	すみよし 住吉小学校	住吉町 3-6-22	24-1148	28	天井 弘	富樫 晃
11	とうほう 東豊小学校	東新町 4-10-8	23-5075	21	高橋 祐二	鈴木 智博
12	なかうら 中浦小学校	大伝 465-2	22-2034	7	長谷川 等	田村 稔
13	てんのう 天王小学校	天王甲 18	32-3101	7	山田せい子	渡邊 正博

学番	学校名	所在地	電話番号	学級数	校長氏名	教頭氏名
14	あらはし 荒橋小学校	荒町 1483	22-3501	6	星 徹	前澤 隆史
15	ほんだ 本田小学校	本田丙 12	32-2603	8	多田 和幸	宮澤 達也
16	しうんじ 紫雲寺小学校	稲荷岡 2389	41-2022	8	茂呂 良彦	大石 康範
17	よねこ 米子小学校	真野原外 1773	41-2036	7	小池 秀樹	佐藤 栄子
18	ふじつか 藤塚小学校	藤塚浜 4063-3	41-2073	8	川村 尚史	久保田理美子
19	かじかわ 加治川小学校	上今泉 366-1	33-2435	14	安澤たい子	桐生 照久

中 学 校

(R1.5.1 現在)

学番	学校名	所在地	電話番号	学級数	校長氏名	教頭氏名
1	ほんまる 本丸中学校	緑町 2-7-22	22-2525	20	伊藤 信行	長井 稔
2	だいいち 第一中学校	御幸町 4-5-25	23-1151	16	佐藤 政志	伊藤 真哉
3	さるはし 猿橋中学校	住吉町 1-7-1	23-1175	22	本間 道夫	清野 正康
4	ひがし 東 中学校	五十公野 4981	22-3824	8	新保 英博	宮川佳代子
5	かわひがし 川東中学校	下羽津 1566-1	25-2011	5	三村 孝志	本間 祐一
6	ななは 七葉中学校	上館乙 84-2	22-3524	8	野澤 一吉	今野由紀子
7	ささき 佐々木中学校	則清 102	27-2505	4	星 和富	角 直浩
8	とようら 豊浦中学校	乙次 50	24-4492	7	森谷 優子	大矢 康之
9	しうんじ 紫雲寺中学校	真野原外 3499	41-4000	8	山田 清	廣澤 正文
10	かじかわ 加治川中学校	川口 330	33-2214	6	星 涉	小田 暢雄



御免町幼稚園

住 所 新発田市大栄町4丁目5番17号
 TEL 0254-22-4536
 FAX 0254-22-4937

1 園の概要

(1) 創立 昭和42年4月1日

(2) 教職員



園長 伊藤 恵子

教諭	4	養護教諭		事務職員	
講師		学習補助員			
介助員	6	用務手	1		
預かり	1				

(3) 学級編制

学年	未満児	3歳児	4歳児	5歳児	計
学級数		1	1	1	3
男		4	9	12	25
女		14	12	9	35
計	0	18	21	21	60

2 地域の概要

- 市街地に近く、住宅地にある。御免町小学校に隣接しており、小学生との交流ができる環境である。
- 南公園も近く、散歩に行き十分に体を動かすことができる。
- 地域住民は、幼稚園教育に関心が高く協力的である。

3 教育目標

- みんなと仲良く遊び、自分の力を伸ばしていく子ども

4 園の課題（伸ばしたいところ）

- 一人一人が自分の思いをもって遊ぶ。
- 保育者や友達と関わりながら様々な感情を味わう。
- 一人一人のよさを発揮しながら友達と協同して遊ぶようになる。
- 大きな声で朝と帰りのあいさつをする。

5 園の経営方針

- 職員の基本姿勢
 - ・ 職員一人一人が主体的、創造的に園務遂行に当たる。和と協力を大切にし、協同の力が発揮できるように努める。
 - ・ 教師は進んで研修に参加し専門性の向上に努める。
 - ・ 一人一人の幼児に対する理解を深める。幼児との信頼関係を築き、心の安定を図るように努める。
- 豊かな人間性や社会性の基礎を育む
 〈幼児期にふさわしい教育を行う〉
 - ・ 遊びを通して総合的な指導を行う教育
 - ・ 幼児期の特性を踏まえ環境を通して行う教育
 - ・ 幼児の興味関心に基づいた直接的な体験が得られる教育

6 年度の重点目標

- 自分で考え、工夫する子ども
- 豊かな心で、友だちと仲良く遊ぶ子ども
- 体が丈夫で、最後までがんばる子ども

7 年度の努力事項

- 環境構成の工夫
- 仲間関係の育成
- 学年・学級経営の工夫
- 家庭・地域との連携

8 研修・研究

(1) 研究主題

- 人と関わる力の育成 ～異年齢交流を通して～

(2) 研究内容

- 異年齢交流を通して、人と関わる楽しさや安心感を感じながら、幼児が自己肯定感をもち、園生活に主体的に関わることができる環境構成や援助の在り方を探る。



加治川幼稚園

住 所 新発田市下小中山322番地1

TEL 0254-33-2745

FAX 0254-33-3172

1 園の概要

(1) 創立 昭和44年4月1日

(2) 教職員



園長 岩村 晶子



副園長 山吹 絵里子

教諭	2	介助員	2
用務手	1	調理手	2
預かり保育	2		

(3) 学級編制

学年	未満児	3歳児	4歳児	5歳児	計
学級数			1		1
男			6	3	9
女			6	4	10
計	0	0	12	7	19

2 地域の概要

- 新発田市郊外の加治川地区に位置し、田畑に囲まれた農村地域である。
- 地域住民は地域のつながりが強く、世代を超えた交流がある。

3 教育目標

- 自分でする子
- なかよくする子
- たくましい子

4 園の課題（伸ばしたいところ）

- 心をつかい、頭をつかい、体をつかい、人と関わるのが心地良いと感じる子ども
- 元気にあいさつができる子ども

5 園の経営方針

- 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育
 - ・ 幼児期にふさわしい生活が展開されるようにする
 - ・ 遊びを通しての総合的な指導が行われるようにする
 - ・ 一人一人の特性に応じた指導が行われるようにする
- 職員の基本的な姿勢
 - ・ 幼児との信頼関係を十分に築き、いきいきと活動できる教育環境を工夫する
 - ・ 常に研修に励み、自らの保育力の向上に努める
 - ・ 幼児、保護者、地域の期待に応え、信頼を得るよう、職務の遂行に努める
- 家庭、地域、小学校、関係機関との連携
 - ・ 便りや行事、懇談会等の工夫をはかり、保護者や地域の理解と協力を得られるように努める
 - ・ 公開保育や協議会等を行い、小学校との接続をはかっていく
 - ・ 関係機関との連絡をとり、個々の幼児に合った援助を行っていく

6 年度の重点目標

- 自分のことは自分でやろうとする
(基本的な生活習慣を身に付ける、集団生活でのルールの必要性に気付いて守ろうとする)
- 友達の思いに気付き、仲よく遊ぶ
(保育者や友達と過ごす楽しさを感じる、友達とやり取りしながら一緒に遊ぶ)
- 遊びや活動を最後までがんばる
(発見したり試したりして遊ぶ、あきらめないで遊びや活動にとり組む)

7 年度の努力事項

- 教育課程
 - ・ 幼稚園教育要領の内容の理解を深める
 - ・ 幼児の実態を踏まえた指導計画の改善
- 学級・学年経営
 - ・ 幼児理解と信頼関係の構築、幼稚園・保育園クラスの担任同士の連携
- 職員の研修
 - ・ 実践に結びつくような研修の持ち方の工夫
- 家庭との連携
 - ・ 便りや行事、懇談会等の持ち方の工夫
- 小学校・関係機関との連携
 - ・ 公開保育、協議会の実施

8 研修・研究

- 研究主題
 - 心をつかい、頭をつかい、体をつかい、人と関わるのが心地良いと感じる子どもの育成
～友達と一緒に共感したり、考えたり、協力したりできるような遊びの環境構成と保育者の援助を探る～
- 研究内容
 - 遊びの実践から、友達と一緒に共感したり、考えたり、協力したりできるような遊びの環境構成と保育者の援助の在り方を探る。



外ヶ輪小学校

住 所 新発田市中央町5丁目8番9号
 TEL 0254-22-2549
 FAX 0254-23-7203
 URL togawa.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 明治25年10月7日

(2) 教職員



校長 井上 正裕



教頭 五十嵐 潤

教諭	19	養護教諭	1	事務職員	1
講師	4	補助教員	1		
介助員	7	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	2	3	2	2	2	2	5	18
男	22	34	22	24	31	18	17	168
女	16	34	24	31	27	26	7	165
計	38	68	46	55	58	44	24	333

2 地域の概要

- 学区は、新発田市の中心部に位置し、市役所をはじめ、市民文化会館、市立歴史図書館、生涯学習センター等の公共施設が集中している。
- 地域住民は、教育活動への理解が深く、協力的である。

3 教育目標

「ともに伸びゆく」
 ～かかわる つづける ふりかえる～

- 様々な教育活動を通じて、どの子も自分のち味や力を最大限発揮して学び、伸び続ける。
- 関わるすべての人たちとの良好で高め合う関係の中で、自分自身をつくり上げていく。
 - ・「かかわる」：積極性・感謝・思いやり・切磋琢磨
 - ・「つづける」：継続・反復・工夫改善・達成感
 - ・「ふりかえる」：成長・課題への気付き・意欲

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

《目指す子どもの姿》

ー将来に向けてよい習慣を身に付けるー

- (1) 主体的に学び合い かかわり合う中で 考えを深める子
- (2) 気持ちを伝え合い よいことを習慣とし 互いのよさに気がつく子
- (3) 仲間と一緒に くり返し運動し 元気に生活する子

5 学校の経営方針

○ともに活動し、ともに学び合い、ともに楽しむ
 外ヶ輪小学校

現教育目標6年目の節目を迎え、目標に示された姿が、具現化されているのかを確認し、目標に向かう手立てを見直していく。「ふりかえる」というキーワードを大切にしながら、かかわるすべての人が、「ともに活動し、学び合い、ともに楽しむ」学校を目指す。

6 年度の重点目標

- (1) 主体的に学び合い、かかわり合う中で、考えを深める子
 - ・主体的に課題と向き合い、各教科の知識・技能を確実に身に付ける。
 - ・多様な人との対話を通して考えを広げる。
 - ・学習を楽しむ。
- (2) 気持ちを伝え合い、よいことを習慣とし互いのよさに気がつく子
 - ・友との豊かなかかわりができる。
(まずは、あいさつ)
 - ・自分を大切にし、友のよさに気づき、互いに成長することを楽しむ。
 - ・正しいことを自分で判断し、行動する。
- (3) 仲間と一緒に、くり返し運動し、元気に生活する子
 - ・仲間とともに、体を鍛えようとする。

7 年度の努力事項

- (1) 教育課題を明確にし、学校評価を着実に実施する。
- (2) いじめ、不登校を未然に防止する。
- (3) 新学習指導要領全面実施に伴う教育課程の編成に取り組む。
- (4) 学校支援地域本部事業を推進する。
- (5) 校内教育相談体制をさらに強化する。
- (6) 働き方を見直し、業務改善に努める。
- (7) 安全・防災教育を推進する。

8 研修・研究

(1) 研究主題

主体的に学び かかわり合う中で 考えを深める子
 ～プログラミング的思考を育てる授業を通して～

(2) 研究内容

プログラミング的思考を育てる授業の中で、互いの考えや作品等を通して友達とかかわり合い、考えを深める子どもを育む手立てを明らかにする。

- プログラミング的思考を育てる授業のあり方について研修・研究を深める。
- コンピュータを使ったプログラミング体験を試行する。
- コンピュータを使わないプログラミング的思考を育てる授業をピックアップし、実践を試みる。



猿橋小学校

住所 新発田市中曽根町3丁目8番29号
 TEL 0254-22-2123
 FAX 0254-22-5892
 URL saruhashi-e.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 明治7年3月

(2) 教職員



校長 瀧谷 一男



教頭 吉田 直彦

主幹教諭	1	教諭	31	養護教諭	1
栄養教諭	2	事務職員	2	講師	4
介助員	14	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	3	4	3	4	3	3	9	29
男	37	56	51	45	53	43	37	322
女	54	45	51	70	43	47	14	324
計	91	101	102	115	96	90	51	646

2 地域の概要

(1) 以前は猿橋村として新発田町の西方に位置していたが、昭和18年町村合併により鴻沼村とともに新発田町に合併となり、その後昭和22年市制施行により新発田市となった。

(2) 学区は、新発田市の中央部に位置し、14町内からなっている。新旧混在している地区である。

(3) 地域の教育に対する関心が高く、期待も大きい。校区には「猿橋中学校区すこやかなこどもを育てる会」があり、健全育成に関わる様々な活動を行っている。また、昨年度、学校支援ボランティアを「蹠玖良ボランティア」として組織化し、保護者・地域住民の学校教育への参画が一層促進している。

3 教育目標

進んで学ぶ子ども
 高め合う子ども
 きたえる子ども

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

【知育】

- ・個別の知識・技能の伸長、基礎学力の確実な定着
- ・自分を表現できる力の育成

【徳育】

- ・思いやりの心と社会性の育成
- ・いじめを見抜く、許さない心や態度の育成

【体育】

- ・基礎的な身体能力の育成
- ・健康な生活を営む力の育成

5 学校の経営方針

ともに きらきら かがやく 子ども

向上心を持ち、友達と学び合い、自分の成長を自覚できる子ども。基礎学力の確実な定着、自分も友達も大切にできる心の育成、健康増進と体力向上など、知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成を目指す。

ともに きらきら かがやく 教職員

教育に対する使命感を持ち、子どもたちの成長、未来のために惜しみない支援ができる教職員。指導技術、専門性を高め、それぞれの立場で協働しながら、組織として子どもたちのために力を発揮していく教職員を目指す。

ともに きらきら かがやく 地域

子どもを見守り、共に活動し、成長の喜びを共有できる地域、そこから共に子どもたちの未来を語り合える地域。教育活動への積極的、継続的な参画により、地域との協働体制の構築を目指す。

6 年度の重点目標

地域とともに歩む学校「ともに きらきら かがやくこころ」を合言葉に、向上心を持ち、積極的に学び合う姿、思いやりをもったかかわり方を集団で創り上げる姿、健康な生活、体力の向上に向け鍛え合う姿が満ちている「蹠玖良校」を目指し、全校体制で取り組む。

- (1) 確かな学力の定着
- (2) 思いやりの心と社会性の育成
- (3) 健康の増進と体力の向上
- (4) 家庭・地域と共に歩む学校づくり
- (5) 子どもの命と人権を守る安心安全な環境づくり

7 年度の努力事項

確かな学力の定着

- 学ぶ意欲を高める授業づくり
- 自ら考え、判断し、表現する力の育成

思いやりの心と社会性の育成

- 違いを認め、尊重する子どもの育成
- いじめ根絶

健康の増進と体力の向上

- 基礎的な身体能力の育成
- 健康な生活を営む力の育成

保護者・地域とともに歩む学校づくり

- 子どもを見守り、共に活動し、成果（成長の喜び）を共有できる地域、そしてともに子どもたちの未来を語り合える地域

子どもの命と人権を守る安心安全な環境づくり

- 外部機関、地域、学校が連携した、命と人権を守る安心安全な環境づくり

8 研修・研究

(1) 研究主題

学び合う力を高める子どもの育成（1年次）
～「学び合い」での教師のコーディネート の在り方と教育課程の編成～

(2) 研究内容

○「学び合う力を高める子どもの育成」を目指した授業
実践学び合いを通して、課題の解決をしていく子どもの姿を明確にし、その姿を促す具体的な教師の手立てを探っていく。

「学び合う力」を含めた、猿橋小学校の子どもに育成したい資質・能力を明らかにし、それを基にした教育課程を編成していく。



御免町小学校

住所 新発田市大栄町4丁目5番33号
 TEL 0254-22-2216
 FAX 0254-22-4610
 URL gomenmachi.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 明治6年2月19日

(2) 教職員



校長 藤井 聡



教頭 佐藤 健

主幹教諭	1名	教諭	27名	養護教諭	1名
事務職員	1名	講師	2名	助教諭	1名
補助教員	1名	介助員	11名	スクールサポーター	1名
用務手	1名				

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	3	2	3	3	3	3	8	25
男	34	28	48	32	27	46	29	244
女	35	35	44	45	39	45	10	253
計	69	63	92	77	66	91	39	497

2 地域の概要

- 学区は新発田市のほぼ中央部に位置し、旧町名のある古くからの地区と新興住宅地が混在している。
- 清水園、足軽長屋、諏訪神社、寺院など、城下町の歴史的な文化遺産を随所にとどめている。新発田祭りの台輪を継承している地区も多い。
- 地域住民は学校教育に関心が高く、協力的である。

3 教育目標

「みんなとともに生き 自分の力をせいっぱい
 伸ばしていく子ども」

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 特別支援学級在籍児童および通常学級在籍で配慮を要する児童が増加している。「ユニバーサルデザイン教育（UDL）」の視点を踏まえた授業づくり、学級経営を行う必要がある。
- 学習への関心・意欲・態度、基礎・基本の定着が十分でない児童が若干名いる。
- 集団の中に入らなく入れないことにより、自尊感情が低くなり、思いやりのない言動が見られることがある。
- 十分な睡眠時間の確保、メディアコントロールへの意識が十分ではない。

5 学校の経営方針

- 学校は、児童が自己実現を図るための基礎を培う場である。
- 「子どもの声を聴く」それがすべての教育の始まり。
- 児童が安心して生活できる場 安心して通える学校をつくる。
- 知・徳・体のバランスのとれた児童の育成
- 「悪者」をつくらぬ教育を行う。
- 「子どもは地域の宝」保護者や地域の思いや願いを大切にする。
- 同じ方向を目指し、異なる役割を果たす職員集団になる。

6 年度の重点目標

- 『主体的な学び』『学習意欲の向上』（知育）
 - ・ 集中して学習に向かう集団を育成する。
 - ・ 考えさせることを大切にし、剥離しない知識を獲得させる。
- 『自己有用感』『判断力の向上』（徳育）
 - ・ 互いに認め合い、よさを出し合える集団を育成する。
 - ・ 自分を大切に、よいことを進んで行う実践力を身に付けさせる。
- 『向上心と継続力』『生活習慣の改善』（体育）
 - ・ 励まし合い高め合いながら目標達成に努力する集団を育成する。
 - ・ 向上心をもち最後まで努力する態度を身に付けさせる。

7 年度の努力事項

- 「教える授業」から「考えさせる授業」への転換とUDLの視点に基づいた授業の推進
- 自己有用感の獲得に向けた、互いに認め合える体験や活動の継続
- 個の良さを称賛し、認め合える場の設定
- 目標設定と評価を大切に指導
- 健康的な生活習慣の定着に向けた全校あげての取組
- 学校支援地域本部事業の整備（保護者、ゲストティーチャー、ボランティア等）
- 確かな連携の推進（家庭、地域、第一中学校区、教育委員会、児童相談所等）

8 研修・研究

(1) 研究主題

見通しをもち 生き生きと表現する子ども
 ～学びへの主体性を育む授業づくりを
 目指して～

(2) 研究内容

- 児童の問いや分からなさを生かした学習課題の設定
- 学習したことに納得したり、価値や有効性に気付いたりするための収束の工夫



二葉小学校

住所 新発田市中田町3丁目6番地1
 TEL 0254-22-2164
 FAX 0254-22-6690
 URL futaba.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和39年4月1日

(2) 教職員



校長 長谷川 恵



教頭 小林 由明

教諭	15	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員	1	養護助教諭	1
介助員	4	用務手	1	栄養教諭	2
助教諭	1				

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	2	2	2	1	2	2	3	14
男	17	23	22	20	28	23	17	150
女	21	28	29	15	22	20	3	138
計	38	51	51	35	50	43	20	288

2 地域の概要

加治川が地域を流れ、広々とした田園と近代的な町並みとを併せもつ地域である。保護者を始め、祖父母や地域の学校に対する関心と期待の高さが感じられる風土である。H27年度PTA文部科学大臣表彰を受けた。地域と学校で組織する「二葉ネット」も、H29年度に文部科学大臣表彰を受けた。地域と学校が連携・協働して教育活動を推し進めている。

3 教育目標

たくましく生きる二葉っ子

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 目指す学校像
 - ・安全・安心な学校
 - ・家庭・地域との連携を大切にしている学校
 - ・学力をつける学校
 - ・規律のある学校
 - ・整然とした、きれいな環境の学校
- 目指す児童像
 - ・自他の生命を尊重する児童
 - ・学習に励む児童
 - ・あいさつ・清掃がきちんとできる児童
 - ・健康を増進させ、運動に励む児童
- 目指す教職員像
 - 子ども起点・チーム二葉・地域連携を基本に、危機に敏感な教職員

5 学校の経営方針

- ◎ 仲間とともに、わくわく・きらきらで人やことに進んでかかわる子どもの育成 — 地域とともに創造力と温かな笑顔で児童も教職員も光り輝く二葉小—
- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるとともに、思考力・判断力・表現力の育成に努め、確かな学力を育成する。
 - (2) 豊かな心と健やかな体を育てる教育の充実に努める。
 - (3) 特別な支援を必要とする児童への教育の充実に努める。
 - (4) 「『いのち』を大切に、守る」教育活動の充実に努める。
 - (5) 地域との連携・協働を一層進め、地域とともに歩む学校づくりに努める。

6 年度の重点目標

- 【知育】友だちとともに進んで学習する子
算数の単元テストの目標値（80点）を上回る児童が70%以上の学級を8学級以上にする。
- 【徳育】友だちと進んでかかわり合う子
活動を振り返るアンケートで「相手を意識したかわりができた」と認められる児童が80%以上の学級を9学級以上にする。
いじめをしない・見逃さないという意識をもつ児童が90%以上の学級を8学級以上にする。
- 【体育】友だちとかわり運動を楽しむ子
児童アンケートで「友だちと関わりながら学習に取り組んだ」と答える児童が80%以上の学級が9学級以上にする。

7 年度の努力事項

- 【知育】
- ・実態把握に基づいた授業改善を図る。
 - ・全校体制で授業改善に取り組む。
 - ・家庭学習習慣の定着を図る。
- 【徳育】
- ・道徳の時間を中心に、生命尊重、人権教育、同和教育の授業を行う。
 - ・意図的に指導する場の工夫に努める。
 - ・体制作りをして、児童の安全と権利を確保する。
- 【体育】
- ・体力の伸びが実感できるようにする。
 - ・規則正しい生活習慣を身に付けさせる。
 - ・栄養バランスを意識して、好き嫌いをなく食べようとする態度を育てる。

8 研修・研究

(1) 研究主題

他者への共感的理解を深め、「人」を、「いのち」を、大切にできる子どもの育成（2年次）
～自分の生き方を見つめ直すことができる人権教育、同和教育の授業実践をととして～

(2) 研究内容

- 「いじめ、差別、偏見を見抜き、それらを許さない公正な判断力を育てるとともに、自他の人格を尊重し、誰とでも仲良く助け合い、行動できる」を、目指す児童の姿として設定し、次の3点を研究していく。
- ①人権教育、同和教育の授業（人権学習）の教育課程における位置づけ
 - ②人権学習における学びの深まりモデル
 - ③自分事として考える人権学習



東小学校

住 所 新発田市五十公野4862番地
 TEL 0254-22-3641
 FAX 0254-22-8644
 URL higashi-e.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 平成30年4月1日

(2) 教職員



校長 村川 潤一



教頭 須貝 克徳

教諭	20	養護教諭	1	事務職員	1
講師	2	補助教員	0		
介助員	5	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	2	3	2	2	2	2	4	17
男	29	30	37	33	36	32	16	213
女	28	41	34	36	28	40	9	216
計	57	71	71	69	64	72	25	429

2 地域の概要

平成30年度より松浦小、五十公野小、米倉小の3校が統合し、誕生した学校である。学区は広大であり、住宅地や農村部、さらには山間地も有し、自然豊かな地域である。

保護者の職業は、多様で共稼ぎ家庭が大半を占めている。地域の方々には学校に対して協力的で、家庭と学校が共同して教育活動を行うことができるものとする。地域の新設校に対する期待は大きい。

3 教育目標

ともに伸びる 元気な子ども

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

【知育】

分かりやすい学習課題には意欲的に取り組むことができるが、条件が複雑であったり、意味を捉え辛かったりすると、あきらめてしまう場面も見られた。

魅力ある課題作りや発問、解決場面や、まとめ、振り返りにおける指導の過程を工夫することにより、学びを深めていく子どもの姿を目指したい。

【徳育】

よいと思うことは、まねしたり、広げたりしようとする姿が見られる。よさを賞賛し、広げていくことで、好ましい行為の連鎖を広げていくようにしたい。

【体育】

グラウンドも、プールも使えるようになった。体力向上に向け、体育の授業や、休み時間において、子どもの体力を高めるための取組を積極的に行っていく。

健康的で規則正しい生活習慣を身に付けさせた。

5 学校の経営方針

子どもたちが生き生きと学ぶことができる安全で楽しい学校、教職員一人一人が力を合わせて課題に取り組む学校経営を推進する。

6 年度の重点目標

○聴く力の向上（立ち位置、目線、姿勢、内容理解）
 ○その場の状況にふさわしい言動の連鎖

【知育】 粘り強く考え、ともに学び合う子ども

- ・最後まで課題を解決しようとする子
- ・根拠をもとに相手に分かりやすく表現する子
- ・地域を学び、地域を誇れる子ども

【徳育】 認め合い、自他を大切にする子ども

- ・よさや違いを認め、友だちを大切にする子
- ・自分に自信をもって活動する子

【体育】 めあてをもって健康づくりに挑戦する子ども

- ・めあてに向かって、進んで体を動かす子
- ・基本的な生活習慣を身に付け、健康な生活をする子

7 年度の努力事項

【知育】

- ・新発田市授業スタンダードを生かした授業づくりに取り組む。
- ・授業の中で、相互交流の時間を確保し、根拠を示して話し合う場を設定する。
- ・総合的な学習の時間や、生活科を核とした地域学習を展開する。

【徳育】

- ・全校縦割り班活動やペア学年交流等の異学年交流活動を積極的に行う。
- ・SSEや生活目標に関連した特別教育活動、道徳授業を行う。

【体育】

- ・子どもたちが自分のめあての達成を目指すための体力向上プログラムの実践を行う。
- ・給食指導や食育授業を充実させ、家庭と連携した健康な生活習慣づくりを行う。

8 研修・研究

(1) 研究主題

主体的に学び、考えを深める子どもの育成

(2) 研究内容

- 国語、算数を研究教科とする。
- 新発田市授業スタンダードを基本として、東小スタンダードを確立する。

授業改善のポイント

- ①児童が主体的に取り組む課題や発問の工夫
- ②見方や考え方を働かせる場面の設定の工夫
- ③児童が自分の考えを交流し、深めていく手立ての工夫



川東小学校

住 所 新発田市下羽津1938番地
 TEL 0254-25-2009
 FAX 0254-25-2911
 URL kawahigashi-e.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 平成26年4月1日

(2) 教職員



校長 田中 範克



教頭 富田 一志

教諭	11	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員	0	栄養教諭	1
介助員	2	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	2	1	1	2	1	2	10
男	13	20	12	13	20	16	6	100
女	12	17	15	13	20	14	0	91
計	25	37	27	26	40	30	6	191

2 地域の概要

当校は、新発田駅から南東へ約5.9km、二王子岳を東に望み、加治川の清流の恵を受けた田園地帯にある。地域には、「教育村川東」の伝統が引き継がれており、教育に関心が高く、学校に対して協力的である。

3 教育目標

「かしこく やさしく たくましく」

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- (1) 基礎学力の定着
- (2) 社会的・職業的自立の基礎的能力や態度
- (3) 自己有用感や人間関係を築く能力
- (4) よりよい集団づくりのための社会性の育成
- (5) 健康的な基本的生活習慣の定着

5 学校の経営方針

ふるさとを愛し 夢や目標をもち 進んで学び合う子ども
 ふるさとを愛し【あい】
 人と仲よくかかわり【ひと】
 自分をみつめ【じぶん】
 自分らしく生き【いきる】
 未来を切り拓く子【みらい】

<学びの合言葉>

「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ

<生活の合言葉>

いじめ・差別をしない、許さないやさしい川東っ子

6 年度の重点目標

<学びの重点目標>

進んで学び合い、確かな学力を身に付ける子ども

①単元テストの正答率が85%以上

②勉強が楽しい、進んで学習ができた児童が85%以上

<こころの重点目標>

いじめ・差別をしない、許さないやさしい子ども

①学校が楽しいとする児童が90%以上

②みんなにやさしくすることができる児童が90%以上

<からだの重点目標>

進んで運動し、健康的に生活する子ども

①運動することが楽しいと感じる児童が80%以上

②平均3回歯みがきをする児童が75%以上

7 年度の努力事項

進んで学び合い、確かな学力を身に付ける子ども

①学んだことを説明できるようにする学習指導

②意欲を高めて自ら学ぼうとする学習習慣の定着

いじめ・差別をしない、許さないやさしい子ども

①ルールとリレーション（人間関係）指導と教育相談の充実

②人間関係形成能力を高める活動

進んで運動し、健康的に生活する子ども

①体力実態に基づいた体力向上の取組

②健康に生活するための好ましい生活習慣の定着

8 研修・研究

(1) 研究主題

いじめ・差別をしない、許さないやさしい子どもの育成

～人権教育、同和教育の視点に立った「特別の教科道徳」の授業改善の推進～

(2) 研究内容

◎授業研修（特別の教科 道徳）の実施（全担任による公開授業・全体協議会の実施）

- ・隣保館、人権教育、同和教育の推進に長けた方を外部講師とした指導案検討段階での参画
- ・現地研修や先進的実践に学ぶ教職員の人権意識の涵養



菅谷小学校

住 所 新発田市繁山70番地
 TEL 0254-29-2018
 FAX 0254-29-2252
 URL sugatani.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和56年4月1日

(2) 教職員



校長 濱田 浩昭



教頭 前田 哲

教諭	7	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員	1	栄養士	1
介助員	1	用務手	1	調理員	3

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	7
男	5	8	4	8	3	4		32
女	4	5	7	5	8			29
計	9	13	11	13	11	4		61

2 地域の概要

学区は越後山脈と楡形山脈にはさまれ、14の地区が散在する。また、地域には古くからの文化財が数多く存在する。弥生時代の村尻遺跡出土品は国の重要文化財の指定を受けた。住民の多くは農業や畜産業を営み、近年は兼業農家が増加している。また、教育に対する関心が高く、学校に寄せる期待は大きい。

3 教育目標

よく考え 心豊かな たくましい子ども

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- (1) 知育 ～確かな学力の育成～
 - ・関わり合いのある学習をとおし、自分の考えを進んで表現する子の育成
- (2) 徳育 ～豊かな心の育成～
 - ・自分の思いをはっきり伝え、互いの良さを認め合い、豊かな心を自ら育む子の育成
- (3) 体育 ～健やかな体の育成～
 - ・体力向上と健康を意識し、めあてを決め、めあてに向かって体を動かしたり、よりよい生活習慣を身に付けたりしようとする子の育成

5 学校の経営方針

- (1) 合言葉 ～ともに笑顔で生き生き輝こう～
一人一人が大切な存在
協働体制 全児童が自分の子ども→安全・安心
報告・連絡・相談・記録・共有
- (2) 目指す学校
 - ①子ども一人一人に居場所があり、のびのびと自己表現できる学校
 - ②子どもが学ぶことに喜びを感じ、期待感をもって登校し、成就感や満足感をもって下校する学校
 - ③子どもも職員も笑顔で接し、明るいあいさつがいつも響き、温かい信頼関係がある学校

6 年度の重点目標

- 【知】 進んで表現し合う子
- 【徳】 相手にやさしく行動する子
- 【体】 元気に運動する子

7 年度の努力事項

- 【知育】
 - 「新発田市授業スタンダード」の活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と研修の充実
 - 単元テスト、全国学力学習状況調査等、各テストの結果分析と事後指導、授業改善への取組
 - ユニバーサルデザインを取り入れた授業の推進
 - 家庭学習の計画を立て、実施状況を振り返る場を毎週1回以上設定
 - 地域教育プログラムに基づく地域の人材や施設の活用。児童の意欲的な追究の推進と振り返りの実施
- 【徳育】
 - 児童会、職員、保護者、地域が一体となったあいさつ運動の実施
 - 自分を好きになり自己有用感が高まるような活動の実施と全校縦割班活動・異学年交流の更なる充実
 - 「いじめ防止基本方針」に沿ったいじめへの指導の徹底。全職員の連携による問題行動の未然防止・早期発見・即時対応の実施
 - 職員の情報交換と児童への教育相談の実施
関係機関との連携による総合支援の実施
 - 人権教育、同和教育の推進と全校道徳学習参観・道徳懇談会の実施。「特別の教科道徳」の年間指導計画に沿った実践と授業改善
- 【体育】
 - 体力テストの実施と結果分析、指導改善への取組
 - 遊び場や運動のための遊び道具等、環境の整備による体力向上の取組
 - 地域人材も含めた外部講師との連携を図った「すこやかセミナー」の実施
 - 学校歯科医・歯科衛生士による「むし歯予防教室」と歯みがきを中心とした望ましい生活習慣についての保健指導の実施
 - 学校保健委員会、PTAと連携した活動の実施

8 研修・研究

- (1) 研究主題
「主体的・対話的で深い学び」を実現させる言語活動の質の充実をめざして
- (2) 研究内容
 - ・進んで伝えることのできる学習課題のあり方
 - ・友達と話し合い、自分の考えや思いをまとめられる場や環境のあり方
 - ・知識の再構築や学習内容の定着につながる「学習の振り返り」のあり方



七葉小学校

住 所 新発田市黒岩6番地
 TEL 0254-29-3305
 FAX 0254-31-2012
 URL nanaha-e.shibata.ed.jp

1 学校の概要

- (1) 創立 昭和45年4月1日
 (2) 教職員



校長 小野沢 謙一



教頭 脇川 恭子

教諭	11	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員			
介助員	5	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	4	10
男	8	15	15	8	15	8	18	87
女	14	13	18	17	11	8	4	85
計	22	28	33	25	26	16	22	172

2 地域の概要

- 学区は楡形山脈西側に広がる水田地帯にあり、加治川地区に隣接し、二王子岳山麓と広範囲にわたる。
- 学区は、国道7号沿いの新興住宅地域と旧集落の水田地帯に大きく分けられる。新興住宅団地の児童数が全校児童のほぼ7割を占めている。

3 教育目標

自分を高め
 みんなとともに
 生きる子ども

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 学ぶ意欲をもち、ともに学び合い思考力、判断力、表現力を伸ばす。
- 自分や友達よさに気づき、共感的な人間関係を築く。
- 進んで運動し、体力の向上や生活習慣の改善に取り組む。

5 学校の経営方針

笑顔あふれる 楽しい学校 魅力ある学校
 キーワード “笑顔あふれる七葉”

- 確かな学力を身に付け、人権感覚をもち、笑顔で生活する子
- 授業を大切にする教師、児童に力を付ける教師
- 確かな人権感覚で個に寄り添い、居場所があり存在感をもてる児童を育てる、支え合い高め合う教職員集団
- 児童の姿で説明責任を果たす魅力ある学校づくり

6 年度の重点目標

- 【知】ともに学び合い、確かな学力を身に付ける子ども
- 確かな学力の向上
 - ・考えを伝え合い、話し合いを深める。
 - ・学習意欲を高める。
- 【徳】あたたかな人間関係を築ける子ども
- 豊かな人間性と社会性の育成
 - ・自分や友達よさに気付く。
 - ・気持ちのよいあいさつを交わし合う。
- 【体】すすんで運動し、健康的に生活する子ども
- たくましく生きる体力の向上
 - ・主体的に運動に取り組む。
 - ・生活習慣への関心を高める。

7 年度の努力事項

- (1) Web診断問題を活用した授業改善、「新発田市授業スタンダード」に基づき、授業を展開し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
- (2) 個に寄り添い、人権意識を醸成し一人一人の子どもが生かさされ、よさが認められる支持的風土の学級集団作りに努める。
- (3) 「人権学習」の確実な実施、「道徳科の授業」を各活動における道徳教育の要とし、お互いが人として尊重し合い、差別、偏見意識を持たない心を育てる。
- (4) 子どもの悩みや相談に気軽に応じることができる実効的な校内体制づくりに努め、いじめ・不登校のない学校づくりを目指す。
- (5) 自分の体力の実態を知り、めあてを立て継続して運動に取り組めるようにする。
- (6) 地域ぐるみで子どもたちを育てることができるよう、地域との連携強化、学校運営への地域力の参画を図る。

8 研修・研究

- (1) 研究主題

自分を、みんなを大切にして、共に伸びようとする子どもの育成
 ～多様な考え方や感じ方と出会い、
 自己を見つめることができる道徳授業を目指して～
- (2) 研究内容
 - ◎ 「特別な教科道徳」授業の取組
 - ① 小中9年間を見通した道徳教育全体計画・年間指導計画・別葉に基づいた授業実践と改善
 - ② 児童の道徳性育成に向け外部講師等を活用した道徳の授業実践
 - ③ 教職員の道徳授業の改善や評価についての研修



佐々木小学校

住 所 新発田市則清856番地
 TEL 0254-27-2011
 FAX 0254-27-2275
 URL sasaki-e.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 明治35年7月10日

(2) 教職員



校長 関川 紀美子



教頭 加藤 義隆

教諭	8	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員			
介助員	1	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
男	9	12	4	13	4	12	4	58
女	14	11	11	7	14	9	2	68
計	23	23	15	20	18	21	6	126

2 地域の概要

- 学区は、新発田市の西部に位置し、新発田市街、聖籠町、新潟市北区に近接している。18区約1,000世帯からなっている。
- 当地区は、稲作を中心とする田園が広がっているが、旧国道7号周辺には西部工業団地があり、工場も多い。
- 共働きの家庭が多いが、保護者及び地域住民は学校教育に対して理解があり、協力的である。

3 教育目標

- 自分で深く考える子
- 思いやりをもって助け合う子
- がんばってやりとげる子

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 学力の向上
- 思いやりの心の育成
- 体力・健康の向上

5 学校の経営方針

当たり前のことが当たり前になされ、笑顔で終わる学校を目指す。教育活動の改善と充実を図るため、授業改善、学校行事・教育活動の工夫・改善に取り組み、地域との絆を大切にしながら、保護者、地域の方々と、子どもたちの成長を共に喜び合える学校教育を目指す。児童の実態やこれまでの実践を踏まえ、特に以下の6に示す8項目に重点を絞り、常に80%以上の達成率を目標に、着実な指導と確実な点検を行いながら、子どもを伸ばす学校づくりを推進していく。

6 年度の重点目標

- (1) 学習意欲の向上
- (2) 学習指導の充実
- (3) 学習習慣の定着
- (4) 基本的な生活習慣の定着
- (5) 人間関係づくりの推進（学級）
- (6) 人間関係づくりの推進（たてわり班）
- (7) 体育学習の充実
- (8) 食育・健康生活の推進

7 年度の努力事項

- (1) 読書に親しむ子80%以上
- (2) 授業のふり返りで、B以上の内容を記述できる子が80%以上（全教科の中から月3回以上）
- (3) 宿題提出率80%以上
- (4) しっかりとあいさつや返事をする子80%以上
- (5) 主体的に活動する子80%以上
- (6) たてわり班活動を協力して行う子80%以上
- (7) 体育を楽しみ、進んで体育学習に取り組む子が80%以上
- (8) しっかり食べる子（3つの色と量）80%以上

8 研修・研究

(1) 研究主題

自分の考えを伝え合いながら、
考えを深める・広げる子どもの育成

(2) 研究内容

- ①研究教科 全教科
- ②目指す子どもの姿を具現化させるための学習過程
- ③研究内容の具体的な視点
 - ア 学び合いの目的を明確にするための工夫
 - イ 考えが深まるようなかかわらせ方や形態・ツール・教師の関わり方の工夫



住吉小学校

住所 新発田市住吉町3丁目6番22号
 TEL 0254-24-1148
 FAX 0254-23-3993
 URL sumiyoshi.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和53年4月1日

(2) 教職員



校長 天井 弘



教頭 富樫 晃

主幹教諭	1	教諭	30	養護教諭	1
事務職員	1	講師	4	補助教員	1
介助員	9	用務手	1	SSS	1
図書館事務	1	給食運搬P	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	4	3	3	3	3	3	9	28
男	52	42	43	40	43	52	27	299
女	64	37	44	37	43	42	15	282
計	116	79	87	77	86	94	42	581

2 地域の概要

学区の南側を白新線が通り、近年、西新発田駅を中心に宅地開発と同時に大型店の進出により、交通量が多くなった。

地域住民は、学校教育に理解があり、行事やその他教育活動に対して大変協力的である。

3 教育目標

助け合い、進んで学習するたくましい子ども

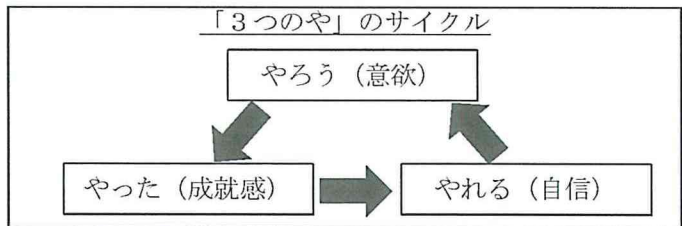
4 学校の課題（伸ばしたいところ）

住吉小学校は、保護者と学校職員がパートナーとなり、互いを尊重し、力を合わせて教育と子育てを行っている。具体的にはPTA活動の充実など、連携した教育を推進している。

また当校は、市の課題ならびに、校区内に同和地区と人権啓発のための拠点施設である隣保館があることを受け、教育の基盤を「人権教育、同和教育の充実」に置き教育活動を進めている。児童一人一人に人権感覚と実践的態度の育成を図るとともに、職員が児童一人一人に寄り添うことによって、人権や差別の問題を自分の問題としてとらえられるような指導の充実をさらに図っていく。認め合い、支え合い、高め合う経験を通して、将来の自立に向け、たくましく生きていく力を付けることを柱として学校づくりを進めている。

5 学校の経営方針

- 「楽しい学校 魅力ある学校」
～保護者・地域との連携・協働による学校づくり～
- 「笑顔」がいっぱい「ストレス社会」「不寛容な時代」だからこそ「笑顔」がいっぱい
- 「チーム住吉小」で組織力アップ
- 「3つのや」を育む教育活動の展開
「やろう：意欲」「やった：成就感」「やれる：自信」
 - 「やろう」という意欲の喚起
 - 「やった」という成就感・達成感の体感
 - 「やれる」という自信の喚起



6 年度の重点目標

- かかわる力の育成
自分の思いを伝え、相手の思いを大事にする子ども
(伝える力と受け止める力)
- 学力の向上
互いの考えを認め、学び合える子ども
- 体力の向上
互いのよさを認め、楽しく運動する子ども
正しい生活習慣を身に付ける子ども

7 年度の努力事項

- 望ましい人間関係づくり
 - 人権や差別の問題を自分の問題としてとらえる指導の充実
 - 学級集団、異学年集団の人間関係づくり能力の育成
- 課題解決に向けた意欲と主体性の向上
 - かかわりを重視した授業への改善
 - 家庭学習の取組奨励
- 体力向上と健康の改善
 - 体育授業におけるグループ学習の活用
 - 望ましい生活習慣形成のための授業実践と家庭との連携

8 研修・研究

- 研究主題
互いを認め、支え合い、学び合う子どもの育成
～自分を見つめ直すことができる
同和教育の授業（3年次）～
- 研究内容
 - 差別事象等を自分のこととして考え、自分を見つめ直すことができる「じんけん」の時間の在り方を探る。
 - 全職員が「かかわりレポート」を作成し、児童への寄り添い方を振り返り、「かかわる同和教育」の実践を深めたり授業改善につなげたりしていく。



東豊小学校

住所 新発田市東新町4丁目10番8号
 TEL 0254-23-5075
 FAX 0254-23-5189
 URL toho.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和63年4月1日

(2) 教職員



校長 高橋 祐二



教頭 鈴木 智博

教諭	25	養護教諭	1	事務職員	1
講師	4	補助教員	1		
介助員	6	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	3	3	3	3	3	2	4	21
男	48	45	47	39	38	41	20	278
女	43	36	45	36	42	31	10	243
計	91	81	92	75	80	72	30	521

2 地域の概要

旧市街地の東部に位置する校区は、住宅地域と農村地域の二つの地域から成り立っている。学校周辺は新興住宅地に変容し、児童数が急増した。それに伴って、平成8年度には6教室の校舎増築が行われた。

学校周辺には田園風景も見られ、清楚な教育環境にあるが、通学路には、交通量の多い県道米倉・板山・新発田線と同新発田・津川線が横切っている。また、校区内に新しく道路が開通し、さらに交通量が増加している。

地域や家庭の学校教育に対する関心は高く、協力的である。さらに一層の連携強化を図っていく。

3 教育目標

- 【知育】 かしこく
- 【徳育】 なかよく
- 【体育】 たくましく

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 【知育】
 - ・基礎基本→Webシステム結果を分析し、授業改善に活用する。
 - ・家庭学習→各学年の目指す姿や系統性を見直して「学年×10分」を継続する。
 - ・授業改善→「見方・考え方を働かせること」を意識した授業作りをする。
- 【徳育】
 - ・あいさつ・言葉→地域や保護者との連携を密にする。
 - ・いじめ・不登校→教育相談やQ.Uアンケートに関する職員研修を実施する。
- 【体育】
 - ・健康の増進→就寝時刻の継続的指導をする。
 - ・体力→投げる力を向上させる。

5 学校の経営方針

- 「つ・な・が・り」を大切に
 ～人が人を愛し人を大切に
 する学校、人が人から愛され
 人から大切にされる学校～
- 子どもと子どもとの「つ・な・が・り」のある学校
 - 教職員と子どもとの「つ・な・が・り」のある学校
 - 教職員と教職員との「つ・な・が・り」のある学校
 - 教職員と保護者、地域の人々との「つ・な・が・り」のある学校そして地域
 - 保護者と保護者、地域の人々との「つ・な・が・り」のある学校そして地域
 - 子どもと地域の人々との「つ・な・が・り」のある学校そして地域

6 年度の重点目標

- 【目指す子ども像】
 主体的に学び合うことを通して、見方・考え方の深まりや
 広がりを実感する子ども
- 教科教育→学力の向上
 「基礎学力・主体的な深い学び」
 - 情操教育→豊かな心の育成
 「思いやりの心と協調性」
 - 健康教育→体力の向上と健康三原則の定着
 「基礎体力・望ましい生活習慣」

7 年度の努力事項

- 【知育】
- ・Web配信問題を実施し、関連指導をおこなう。
 - ・家庭学習の手引きを配布する。
 - ・「主体的な学び」「振り返りの充実」を推進するための手立てを工夫した授業を実施する。
- 【徳育】
- ・指導計画に基づいた人権教育・同和教育の実践
 - ・人間関係づくりに関するスキルの実践
 - ・ねらいや振り返りを大切に「挨拶・言葉遣い」の取組の実施
- 【体育】
- ・家庭と連携した生活習慣改善カードの取組
 - ・「投げる運動」を中心とした補強運動の実施
 - ・運動の習慣化を目指した行間運動の実施

8 研修・研究

(1) 研究主題

一人一人が学びを実感できる授業の創造（二年度）
 ～「つながり」の中で、児童が「見方・考え方」を働かせる授業づくりを目指して～

(2) 研究内容

- ①単元を見通した主体的な学びを実現するために「学びのマップ(単元の流れ)」を共有する。
- ②本時で働かせる「見方・考え方」を明確にする。
- ③「見方・考え方」を引き出し、働かせるための手立てを講じる。
- ④学びの実感を促す「ふり返り」方法を工夫する。



中浦小学校

住 所 新発田市大伝465番地2
 TEL 0254-22-2034
 FAX 0254-23-7002
 URL nakaura.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 明治6年5月

(2) 教職員



校長 長谷川 等



教頭 田村 稔

教諭	8	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	助教諭	1	臨時栄養士	1
用務手	1	調理手	3		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
男	10	6	8	7	8	16	2	57
女	12	14	12	10	7	4	0	59
計	22	20	20	17	15	20	2	116

2 地域の概要

- 学区は大小15地区からなり範囲が広い。そのため、動木橋、中ノ目新田、大沢、加治万代の各地区の児童は、冬期間スクールバスを利用して通学している。
- 学区の多くは田畑であり、兼業農家の家庭もある。保護者が勤めに出て、留守宅は祖父母に委ねられている家庭が多い。
- 学区民は温順であり伝統を尊ぶ気風が強い。学区としての一体感も強く教育熱心である。

3 教育目標

ぐんぐん伸びる子

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 学年・男女を問わず仲が良く、人間関係も良好である。縦割り班による活動を通して、関わりの幅が広がり、社会性や思いやりの心の醸成が図られている。さらに、自主的・主体的に判断して行動する力を一層伸ばしたい。
- 与えられた課題に真面目に取り組む児童が多い。課題等に対し、主体的に取り組めるよう指導を重ねる必要がある。また、自らの考えをうまく伝えるために、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して表現する力を伸ばしたい。

5 学校の経営方針

- 一人一人の子どもが、達成感・満足感・安心感を実感できる学校
- かけがえのないわが子が安心して生活できる学校
- 地域に開かれ地域の特色を生かした教育を推進する学校
- 子どものために、英知を結集して共に励む学校

6 年度の重点目標

- 学びとる子
学ぶ楽しさ・分かる喜びを実感する子ども
- 思いやる子
互いのよさや違いを尊重し、相手の気持ちを考えて行動する子ども
- 元気な子
楽しく運動し、健康に気を付けて生活する子ども

7 年度の努力事項

- 知、徳、体のバランスの取れた教育課程を編成し、主体的に活動し、主体的に他と関わる態度と能力の育成を図る。
- 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善や、個に応じた学習指導、家庭学習習慣の確立の指導を通して、学ぶ意欲を高め、知識及び技能の習得と活用、言語能力の育成を図る。
- 学級や異学年縦割り班を中心に、互いに敬い支え合って活動することを通して、自己有用感や規範意識の育成を図る。
- 健康生活の自己診断やメディアコントロールの取組を通して、家庭・地域と連携した生活習慣の改善を図る。

8 研修・研究

- 研究主題
ともに高め合い、確かな学びを実感する子ども
～対話をとおして考えを深める学習指導～

(2) 研究内容

【教科等指導に関わる点として】

- ① 「主体的・対話的で深い学び」を位置付けた単元計画の作成
- ② 「中浦小の授業モデル」を基にした1単位の計画作成
ア 今年度の重点についての手立ての構想
重点1 ゼレのある課題の設定
重点2 対話を促す工夫
重点3 収束の工夫
- ③ 振り返りの工夫
ア 児童が自分の学びを振り返る機会の設定
イ パフォーマンス評価を取り入れる等、評価方法を工夫する。

【学級経営に関わる点として】

- ①聴き合う学級づくり
- ②ルールを守る学級づくり



天王小学校

住 所 新発田市天王甲18番地
 TEL 0254-32-3101
 FAX 0254-32-3102
 URL tennou.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 明治7年7月27日

(2) 教職員



校長 山田 せい子



教頭 渡邊 正博

教諭	8	養護教諭	1	事務職員	1
講師	0	補助教員	0	調理手	3
介助員	1	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
男	5	9	5	4	8	10	3	44
女	5	3	6	9	2	4	1	30
計	10	12	11	13	10	14	4	74

2 地域の概要

当学区は、新発田市の最南にあり、西に新潟市、南には阿賀野市と境を接し、豊かな自然に恵まれた農村地帯である。

長年にわたる福島潟の水害との闘い等を通して、地区民が協力し、安定した耕地づくりに励んできた歴史がある。

3 教育目標

- 目輝き真理を求める
- 笑顔はじけ仲間と集う
- 額に汗し自分を鍛える

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- (1) 子ども一人一人に、自分のもつ夢や希望を自覚させ、その実現に向けての意欲を高め、自己実現に向けて必要な生きる力を身に付けさせること
- (2) 誰もが安全・安心で楽しく生活できる学校づくりを行い、豊かな人間関係を育てること
- (3) 個に応じた指導の充実を図りながら問題解決学習を展開し、主体的対話的で深い学びの実現を図り、確かな学力を身に付けさせること
- (4) 教育課程を開き、地域と協働で教育活動の充実を図り、地域の一員である自覚と地域を愛する心を育てること
- (5) 保護者と連携して毎日の早寝早起き朝ごはんの習慣を身に付けさせ、自己管理能力を育てること

5 学校の経営方針

- (1) 自他共に大切にし、自己管理できる子どもを育てる
 - ① 分かる授業・楽しい授業を目指す授業改善
 - ② 思いやりの心とやり抜く意志の育成
 - ③ 自立心と自己管理能力の育成
- (2) 個の力を結集し、柔軟に対応し改革できる職員集団
 - ① 日々研鑽に励み、互いの良さを生かし、補充し合いながら指導力を高める。
 - ② 「子どものためになるのか」を論点に知恵を出し合い、最善を尽くす。
 - ③ 「報告・連絡・相談・記録・確認」を大切に正確な情報収集と即時対応に努める。
- (3) 連携と信頼を大切にした教育課程
 - ① 積極的に人・場所・ものと関わらせる。
 - ② 保護者、地域と信頼関係を築く。
- (4) 和やかな職員室
 - ① ライフ・ワーク・バランスを実現する。
 - ② 関係作りに努め、非違行為根絶を図る。
 - ③ 来校者や電話対応は丁寧に行う。

6 年度の重点目標

- 学ぶ楽しさを味わい、進んで学習する子
- 命を大切にし、なかよく生活する子
- 健康に関心をもち、丈夫な体をつくる子

7 年度の努力事項

- (1) 楽しく安心して学べる学校作り
 - ① 学ぶ意欲を高める授業改善
 - ② 自他共に大切にすることを育てる教育の推進
 - ③ 自己有用感・自己肯定感を高める人間関係作り
 - ④ 合理的配慮・UDLを取り入れた教育環境整備
- (2) 地域と一体となった共育の展開
 - ① 地域の方々の支援による学習の充実と環境整備
 - ② 保護者・地域の協力による、登下校の安全確保
 - ③ 豊浦地区の学校・園と連携した学習指導・生活指導の推進

8 研修・研究

- (1) 研究主題

わかる・できる・楽しい授業を目指して
 ～子どもの「数学的な考え方」を高める工夫～
- (2) 研究内容
 - ① 授業での視点
 - ア 学習課題の工夫
 - イ 話し合いの工夫
 - ② 手立て
 - ア 子どものつまずきを想定した授業プラン
 - イ 「問い」をもたせる課題提示
 - ウ 考えを深める話し合いの工夫



荒橋小学校

住 所 新発田市荒町1483番地
 TEL 0254-22-3501
 FAX 0254-23-7006
 URL arahashi.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 明治6年10月5日

(2) 教職員



校長 星 徹



教頭 前澤 隆史

教諭	6	養護教諭	1	事務職員	1
講師	0	補助教員	1		
介助員	0	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1			1	2	6
男	3	1	4	1	3	2	2	16
女	4	2	4	2	3	0	2	17
計	7	3	8	3	6	2	4	33

2 地域の概要

保護者や校区民は、学校に協力的で、学校の教育活動に理解を示している。校区内は、新発田南バイパスが通っており、交通安全指導への強化が欠かせない。児童数の減少に伴い、登校班が編制できない地区もあり、安全確保に保護者の支援を得ている。

3 教育目標

よく考え 進んで やりとおす 明るい 荒橋の子ども
 *よく考え：自分の考えをもとに分かりやすく表現する
 *進んで：自分のことは自分でやり、責任を果たす
 *やりとおす：めあてを立て、最後まで頑張りぬく
 *明るい：思いやりの心をもち、明るく助け合う

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

○決められた学習課題や仕事に対して一生懸命取り組む。一方で自分で解決しようとする意欲がやや低い。物事に取り組む積極性や根気、自信を育てる。
 ○素直で明るい子どもが多い。一方で小規模校の特性で限られた仲間関係のために、仲間が固定化し、進んで人と話したり関わったりする力がやや低い。臆せず誰とでも関わろうとするコミュニケーション能力を育てる。

5 学校の経営方針

◎教職員一人一人の発想や持ち味、力をともに出し合っていくことが基本とする。

- (1) 指導力と組織力の発揮
- (2) 学校評価とリンクした学級経営・分掌校務経営の中での教育課題の解決
- (3) 「自己有用感」「自己肯定感」を育む指導と評価
- (4) 園・学校間、家庭、地域、外部機関等との連携

6 年度の重点目標

できた喜びを 自信につなぐ 子ども

(ささえ・みとめ・つなぐ)

知：「生き生きと表現する子」

- ・順序立てて明確に話す力、受容的な態度で聞く力

徳：「思いやりの心をもってかかわり合う子」

- ・振り返りを大切にし、進んで挨拶できる力

体：「健康的な生活に努め、意欲的に運動する子」

- ・投力、跳躍力、メディアコントロール

7 年度の努力事項

- (1) 学ぶ意欲を引き出し、学んだことを活かそうとする授業づくり
- (2) 地域とのかかわり、知ったことをもとに「活かす学び」へつなぐ体験活動の充実
- (3) 「命の大切さ」「自他の尊敬」「感動」の心を育む教育の推進
- (4) 自己の取組のよさ、自己の伸びを見つめる振り返りの重視
- (5) 特別な教育的ニーズのある子どもへの支援・指導の工夫
- (6) 個々の実態に基づいた体力向上・健康の保持増進
- (7) 園・学校間、家庭、地域、外部機関と連携

8 研修・研究

(1) 研究主題

主体的・対話的に学び、

自らの考えを表現する子どもの育成

～見通しをもち、自分の考えを筋道を立てて表現する力を育てる指導の工夫～

(2) 研究内容

算数科学習において、既習事項を踏まえ、見通しをもって考え課題解決を目指す。具体物・絵・図・記号式・言葉等を使って考え、表現する学習指導を工夫して行っていく。

以下の視点をもって研究を進めていく。

- ①既習事項を踏まえ解決の方法や見通しをもたせるための指導の工夫
- ②自分の考えを筋道を立てて表現できるようにするための指導の工夫
- ③一人一人の表現をつなげ、理解しやすい交流活動の工夫



本田小学校

住 所 新発田市本田丙12番地
 TEL 0254-32-2603
 FAX 0254-32-2211
 URL honda.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 明治7年7月7日

(2) 教職員



校長 多田 和幸



教頭 宮澤 達也

教諭	9	養護教諭	1	事務職員	1
講師	0	補助教員	0	栄養士(兼)	1
介助員	2	用務手	1	調理手	3

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
男	11	10	6	6	10	4	5	52
女	5	10	11	9	6	3	2	46
計	16	20	17	15	16	7	7	98

2 地域の概要

校区は8つの地区からなり、地区により児童数の偏りが見られる。地区を流れる荒川川や月岡梅林園、水芭蕉の群生地など自然に恵まれ、四季を楽しめる恵まれた地域である。また、月岡温泉やゴルフ場施設もあり県内外からたくさんのお客が訪れる。

地域の人々は学校に大変協力的である。本田祭りや「地域の名人に学ぼう」の活動を通して、地域の宝である伝統文化や達人に触れることができる地域である。

3 教育目標

「自ら きたえる」

4 学校の課題(伸ばしたいところ)

- 基礎的・基本的学力の定着はよい。反面、思考力、活用力、表現力には課題が残る。
- 指示に素直に従う反面、自分の考えや思いを伝えたり、異なる考えと共に新たな考えを生み出したりすることに弱さが見られる。主体性の育成が課題である。
- 児童一人一人の違いや、教育的ニーズに応える教育の充実が必要である。
- 児童数減少とともに人間関係が固定化されがちである。

5 学校の経営方針

「個のよさに培い、個の成長を促す」教育を推進する
 ～ 一人一人の主体的な学びから自信を育む ～

一人一人の児童がよさを発揮し、自信をもって充実した学校生活を送れるよう、すべての教職員で、すべての児童の確かな学力形成を支援し、保護者・地域とともに「本田小ならではの教育」を創造する。

- (1) 児童一人一人のよさに培い、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成を図ることで、教育目標『自ら きたえる』の具現を図る。
- (2) 学校課題の解決・自身の成長のため、校内研修の一層の充実を図り、教職員一人一人が「教えるプロ」としての専門性を磨き、高める。
- (3) 子どもの成長を発信し、児童・保護者・地域との信頼関係をより一層深める。
- (4) 学校統合へ向けた計画的な準備

6 年度の重点目標

- 自分の言葉で表現し、深め合う子どもの育成
- 思いやりの心で、ともに助け合う子どもの育成
- 進んで運動し、体をきたえる子どもの育成

7 年度の努力事項

- (1) 学力の向上
 - ① 確かな学力の形成を図る授業の創造(主体的・「問い」のある授業・書く力の伸長)
 - ② 生活科・総合的な学習の時間の充実
 - ③ 個に応じた指導の充実、全校個別の指導ファイルの活用
 - ④ UDL本田スタンダードの徹底
 - ⑤ 学習規律の徹底、家庭学習の習慣化(「学習の手引き」)
 - ⑥ 読書習慣の定着化(朝読書・土日親子読書等)
- (2) 豊かな心の育成
 - ① スマイル児童会や全校縦割りスマイル班の活動の充実
 - ② あいさつや返事の徹底(あいさつ強調週間設定)
 - ③ かかわる同和教育の推進や参観日における道徳授業の公開
 - ④ いじめ・不登校見逃しゼロ(アンケート・教育相談)
 - ⑤ 「命の重さを考える日」の実践
- (3) 健康な体と体力向上
 - ① 体育授業の工夫と充実、体力づくり環境の工夫
 - ② 「貯健通帳」の活用、健康3原則の指導の充実(早寝・早起き・朝ご飯、運動+歯みがきの推進)
 - ③ 学校保健委員会の充実
 - ④ 「食とみどりの新発田っ子プラン」の実施

8 研修・研究

(1) 研究主題

「主体的に学び、共に考えを深め合う子ども」の育成
 ～ 子どもの意識を大切にした「問い」のある授業づくり ～

(2) 研究内容

- ① 「問い」を生む教材の工夫と「問い」を生かした課題のあり方
- ② 共に考えを深めるためのかかわり合いの工夫
- ③ 考えの深まり、新たな「問い」につながる「振り返り」の工夫



紫雲寺小学校

住 所 新発田市稲荷岡2389番地
 TEL 0254-41-2022
 FAX 0254-41-2042
 URL shiunjies.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 明治16年12月

(2) 教職員



校長 茂呂 良彦



教頭 大石 康範

教諭	9	養護教諭	1	事務職員	1
講師	0	補助教員	0	助教諭	1
介助員	2	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
男	12	12	13	11	12	17	8	85
女	15	11	9	10	16	8	0	69
計	27	23	22	21	28	25	8	154

2 地域の概要

紫雲寺地区は享保20年に始まった紫雲寺潟の干拓によって開発が進められた地域である。中心部には、商店街がならび、周辺部には、水田と砂丘地帯の畑地が広がっている。また、愛鳥センター、藤塚浜海水浴場などがあり、子どもたちの置かれている環境は自然豊かである。

3 教育目標

「ともにのびよう」

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- (1) 魅力的な学習課題の設定と「学び合い」を重視することで、学習意欲の向上と確かな知識・技能の定着を図る。
- (2) 「認め合う教室風土の醸成」と「異学年活動」を通して、「自己有用感」の向上を図る。
- (3) 主体的な「健康・体力づくり」に向けての生活習慣・運動習慣の見直しを図る。

5 学校の経営方針

- (1) 子どもの声を聴くことがすべての始まり
- (2) 安心・安全な場である学級・学校
- (3) 知・徳・体のバランスのとれた児童を育成する教育活動
- (4) 親和的な人間関係をつくり、「知恵」と「努力」を身に付けさせていくことを、根源的に目指していく。
- (5) 罪を憎んで人を憎まず。
- (6) 対応のスピード感は誠意の表れ
- (7) 子どもは地域の宝
- (8) ベクトルを揃えた教育活動を行う教師集団

6 年度の重点目標

- (1) 知育：めあてをもち 学び合い まとめをする子
- (2) 徳育：お互いを知り よさを認め合う子
- (3) 体育：運動に親しみ 生活習慣を改善向上する子

7 年度の努力事項

- (1) 学力向上
国語・算数のワークテスト全体の80%が平均80点以上になる。※国語(テストの表面)算数(テストの表裏両面)
- (2) 豊かな心の育成
「自分にはよいところがある」と思う児童が80%以上になる。
- (3) 体力の向上、健康の保持・増進
「めあてをもって運動に取り組んでいる」「進んで身体を動かしている」と答える児童が80%以上になる。

8 研修・研究

- (1) 研究主題
「問いをもって学び合い、まとめをする子どもの育成」
～ 課題の工夫と、学び合いのコーディネート ～
- (2) 研究内容
 - ① 問いを明確にした学び合いと学習のまとめを位置付け、確かな学力と学習意欲の向上を図る。
 - ② 新発田市授業スタンダードを踏まえた授業改善
 - ③ 学習環境の整備(UDL、ICT活用)



米子小学校

住 所 新発田市真野原外1773番地
 TEL 0254-41-2036
 FAX 0254-41-4553
 URL yonesyo.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 明治 17年1月7日

(2) 教職員



校長 小池 秀樹



教頭 佐藤 栄子

教諭	8	養護教諭	1	事務職員	1
講師	0	補助教員	0		
介助員	1	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
男	5	6	8	5	6	9	1	40
女	6	4	3	5	9	10	2	39
計	11	10	11	10	15	19	3	79

2 地域の概要

紫雲寺潟干拓発祥の地にあり、学区は、砂丘地、水田地帯に分布した農村地帯である。広々とした校地に平成14年に整備された「米子の森」、平成17年に整備された「学校田」「ビオトープ」がある。地域の人々の教育に寄せる期待や信頼は高く、学校の教育活動や地域の子ども会育成活動にも協力的である。

3 教育目標

「つよく かしこく 豊かな心」

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

【知育】

- 基礎・基本の確実な定着を図る。
- 進んで友達と学び合い、自分の考えを深めさせる。
- 家庭学習の習慣化を図る。

【徳育】

- 時と場に応じて、明るくあいさつや優しい言葉遣いを身に付けさせる。
- 自分や友達を大切に、仲良く助け合う子どもの育成

【体育】

- 進んで体を動かし、体力を高める子どもの育成
- 自分の健康や安全に関心をもち、規則正しく生活をする子どもの育成

5 学校の経営方針

「つよく かしこく 豊かな心」は、日々学び合う営みをおして「学ぶことの楽しさ」「人を信じられること」「健康に生きる喜び」を実感できる体験を積み重ね、その結果として達成できる姿を示している。一人一人が健康で、互いに学び合い、子どもも教職員も喜びが味わえる学校を目指して教育活動を展開していく。

6 年度の重点目標

- ともに学び合い意欲をもって学習する子の実現
 - ① 指導力向上のための研修に積極的に努める。
 - ② 学習規律や基礎学力の確実な定着を図る。
 - ③ 指導の在り方を振り返り、授業改善に取り組む。
- 自分や友達の良さを認め、支え合って行動する子の実現
 - ① お互いの違いを認め合い、自他のよさに気付く心を育てる。
 - ② いじめ根絶のため、言葉遣いや関わり方、思いやりに気付かせ、学ばせる授業や指導を行う。
- 健康・安全に気を付け、進んで運動する子の実現
 - ① 目標に向かって体力向上に励む子どもを育てる。
 - ② 保護者と連携して基本的生活習慣の定着に向けた取組を進める。

7 年度の努力事項

- 基礎基本の確実な定着
 - ① ワークやWeb配信問題等を授業改善に活かし、学力を向上させる。
 - ② 問題文の意味を正しく読み取り、「自分で解決する力」を育てる。
- 豊かな心の育成・いじめ・不登校の防止
 - ① 誰にでも・いつでも・自分から「だ・い・じ」の合言葉と「ふわふわ言葉」の定着を図りながら、友達を大切に思う心を培う。
 - ② なかよし班を中心とした異学年集団での活動を重視し、人間関係づくりを進める。
- 体力の向上と規則正しい生活習慣
 - ① 体力向上強調週間やロング昼休みを設定し、楽しく運動する習慣を身に付けさせる。
 - ② 学習カードや健康ファイルを活用しながら自分の伸びを確かめ、運動することの喜びや楽しさを味わわせる。
 - ③ バランスの良い食事、歯みがき、適切な就寝時刻と睡眠時間等、家庭と連携した取組を継続する。

8 研修・研究

(1) 研究主題

ともに学び合い、意欲をもって学習する子どもの育成

(2) 研究内容

- ① 基礎学力を向上させるための手立てや働きかけの工夫
 - ア 学習の定着度を把握しながら指導を進める。
 - イ 家庭との連携を図る。
- ② 学習過程の工夫
 - ア つかむ・考える・学び合う・まとめるの授業展開を基本とし、主体的・対話的で深い学びを実現していく。
- ③ 学び合いをコーディネートする工夫
 - ア ねらいに合わせた学習形態を工夫する。
 - イ 全員参加を促す活動を工夫する。
- ④ 意欲をもって学習に取り組むことができるための工夫
 - ア 問いが生まれ、学習意欲が高まる課題の工夫



藤塚小学校

住所 新発田市藤塚浜4063番地3
 TEL 0254-41-2073
 FAX 0254-41-4557
 URL fujisyou.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 明治7年6月15日

(2) 教職員



校長 川村 尚史



教頭 久保田 理美子

教諭	8	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員	0		
介助員	2	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
男	8	7	12	6	15	13	8	69
女	2	13	12	6	7	10	0	50
計	10	20	24	12	22	23	8	119

2 地域の概要

- 市内唯一の海岸に面した地区であり、町内活動も活発で、地域の自治意識も強く住民同士が強い連帯感で結ばれている。

3 教育目標

正しく 明るく たくましく

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

(知育)

- 「学習三原則」の徹底と、家庭との連携による学習習慣・アウトメディアを確立すること
- 自分の意見をもつこと
- 自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見を聞いたりするスキルを向上させること

(徳育)

- 誰に対しても公平な態度で、相手の気持ちを考えた思いやりの言動ができるようにすること
- 進んで誰にでも挨拶できるようにすること

(体育)

- 技術向上、体力増進などを意識して運動すること
- 学校の体育以外で運動に親しむこと
- 学年に応じた睡眠時間を確保すること

5 学校の経営方針

- 目指す学校像
 - ・ 安全・安心な学校
 - ・ 笑顔があふれる学校
 - ・ 地域の拠り所となる学校
- 目指す子ども像
 - ・ 自ら考え表現する子ども
 - ・ 自分も相手も大切にしている子ども
 - ・ 健康に気を付けて体を鍛える子ども
- 目指す教職員像
 - ・ 一人一人を大切にしている教職員
 - ・ 人間性豊かな教職員
 - ・ 学び続ける教職員

6 年度の重点目標

- (知育) 基礎・基本を身に付け、進んで自分の考えを伝える子どもの育成
- (徳育) 思いやりの心をもって、進んで人にかかわろうとする子どもの育成
- (体育) 運動と健康に関心を持ち、進んで体力を高める子どもの育成

7 年度の努力事項

- (知育)
 - ① NRT分析結果やWebテストの過去問題を活用した確かな学力の定着
 - ② 学び合いによる、「分かる・できる」を実感できる授業づくり
 - ③ 時間や内容を意識した家庭学習習慣の定着
- (徳育)
 - ① 思いやりや協力する心を育む活動の推進
 - ② 道徳的実践力及び差別や偏見を許さない人権感覚の育成
 - ③ 挨拶や返事、場に応じた言葉遣い等の継続的指導
- (体育)
 - ① 自らの伸びが実感できる体育授業の工夫
 - ② 学校行事に合わせた業間運動の設定
 - ③ 健康的な生活についての指導の充実

8 研修・研究

(1) 研究主題

友だちとかがわって考えを深める
児童の育成(2年次)
 ～学び合う活動を充実させるための
 言語活動と教師のかかわり方に着目して～

(2) 研究内容

- ① 児童が主体的に「めあて」をもつための課題設定の工夫
 - ・ 導入の進め方を見直し、児童が本気で話し合いたい、解決したいという「問い」をもたせられるような展開を考えていく。
- ② 学び合う活動を充実させるための言語活動
 - ・ 一人一人の「話すスキル」「聞くスキル」「考えるスキル」を向上させるため、昨年度有効であった言語活動を継続し、新たな言語活動の取組を明らかにしていく。
- ③ 教師のかかわり方
 - ・ 学年部で、学び合う姿（目指す児童の姿）を明確にし、そこを目指すための教師のコーディネート力を、
 - 問いかけ、聞き返し、ゆさぶり
 - 追求の方向の焦点化
 - 学び合う活動の設定の工夫
 - 構造化された板書
 - の4点について検証していく



加治川小学校

住 所 新発田市上今泉366-1
 TEL 0254-33-2435
 FAX 0254-33-3999
 URL kajikawa-e.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 平成20年4月1日

(2) 教職員



校長 安澤 たい子



教頭 桐生 照久

教諭	17	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員	1	非常勤講師	1
介助員	4	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級数	2	2	2	2	1	2	3	14
男	19	22	22	21	15	20	14	133
女	19	29	23	21	24	24	6	146
計	38	51	45	42	39	44	20	279

2 地域の概要

- 統合三小学校は平成17年の市町村合併前の旧加治川村の三小学校である。校区の西には加治川が流れ、東には日本最小の楡形山脈が連なる。中央をJR羽越本線国道7号線が南北に通っている。
- 校区西には旧中川小学校区の集落、中央には旧加治川小学校区の集落、北には旧新金塚小学校区の集落が存在する。
- 地域住民の学校を愛する気持ちは強く、協力を惜しまない。開校した当校の施設・設備や教育活動の充実に尽力してくれている。

3 教育目標

学び合い 高め合い 共に伸びる子

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 学力向上の面から
 - 習得した知識や技能を活用する能力を伸ばす必要がある。
 - 「自分の考えを分かりやすく説明する」ことができるよう、言語活動の充実と学び合い活動の充実を図る必要がある。
- 豊かな心の育成の面から
 - 思いやりのある優しい子が多くいるが時として人を傷付けてしまう言動も見られる。児童一人一人に寄り添った指導に努め、豊かな人間性と社会性を育む必要がある。
- 体力向上の面から
 - 進んで体を動かす子どもとそうでない子どもの二極化の傾向が見られるため、運動の楽しさを味わわせる授業や活動を工夫する必要がある。

5 学校の経営方針

- 学力の向上
学習習慣の確立、全校体制による授業改善の実施
- 道徳性の育成
豊かな体験活動の充実、考え議論する道徳授業の実施
- 社会性の育成
関わり合って学ぶ授業、幼保小中学校間の交流、異学年交流の推進
- 特別支援教育
一人一人の違いを認め合う人間関係づくりに配慮した学級経営の推進
- 人権教育、同和教育
互いの大きさを認め合う、支え合う人間関係づくりの推進

6 年度の重点目標

- (知育) 自分の考えをはっきり言える子
- (徳育) みんなのために行動できる子
- (体育) めあてに向かって全力で取り組む子

【目指す学校像】

- 瞳輝き 笑顔あふれる学校
- ・子ども一人一人が個性を発揮し、生き生きとする学校
- ・だれにでもやさしく、思いやりのあふれる学校
- ・子どもも教職員も、にこやかに語り合える学校

【目指す児童像】

- 自信と誇りをもち、主体的に活動する児童
- ・自分の考えをはっきり言える児童
- ・みんなのために行動できる児童
- ・めあてに向かって全力で取り組む児童

7 年度の努力事項

- 学んだことを活用しながら、問題を解決する力を育てる。(知育)
 - 基礎・基本的事項の確実な定着と活用力の育成
 - 伝え合う力の育成
- 力を合わせ、共に学校生活を楽しもうとする態度を育てる。(徳育)
 - 異年齢交流活動の実施
 - いじめ防止や人間関係づくりに関する授業の充実
- 体力向上に努め、健康な生活を過ごそうとする態度を育てる。(体育)
 - 運動を楽しむ体育授業等の工夫
 - 食と健康に関する指導の充実

8 研修・研究

- 研究主題
 - 見通しをもって主体的に学び、生き生きと表現する子どもの育成
～算数科における「言語活動の充実」を目指して～
- 研究内容
 - 加治川小算数科授業モデルの授業実践、改善
 - 見通しをもって主体的に学ぶための課題設定の工夫
 - 自分の考えを表現する場の工夫



本丸中学校

住 所 新発田市緑町2丁目7番22号
 TEL 0254-22-2525
 FAX 0254-22-0342
 URL honmaru.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和22年5月1日

(2) 教職員



校長 伊藤 信行



教頭 長井 稔

主幹教諭	1	教諭	33	養護教諭	1
事務主任	1	助教諭	1	講師	1
用務手	1	介助員	6	スクールサポーター	1
スクールカウンセラー	1				

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	5	5	5	5	20
男	83	71	81	17	252
女	83	79	76	12	250
計	166	150	157	29	502

2 地域の概要

学区には外ヶ輪小学校、二葉小学校、東豊小学校の3小学校がある。

「本丸中学校区明るい子どもを育てる会」で学校と地域等が連携・協力して子どもの健全育成を図っている。

全国で唯一の「本丸」の名称の基となる新発田城を地域のシンボルとして、平成29年度から外ヶ輪小学校児童と協力した「新発田城清掃活動」を行い、地域を愛し地域に貢献する本丸中学校を目指している。

3 教育目標

錬磨し 協調し 創造する生徒

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

○自己肯定感をもち、互いに認め合い高め合う力の伸張

・人間関係のトラブル、不適応の行動、SNS等に関係したトラブル、不適応・不登校生徒の減少に向けた教育活動の推進

・目標設定能力、自己決定能力、コミュニケーション能力、ライフスキル教育の推進

○基礎・基本を身に付け、目的意識をもってたくましく生きる力の伸張

・思考活動等に裏打ちされた表現活動の推進と知識や技能の習得・活用による学習意欲の涵養、「指導と評価の一体化」による学力の確実な定着

5 学校の経営方針

家庭や社会の生活スタイルや価値観が多様化し、保護者、地域の「本丸の教育」への期待は大きい。新学習指導要領の実施を前にして、子どもたちの「生きる力」さらに「生き抜く力」を育むことが重要である。

教職員はこれまで以上に生徒・保護者との信頼関係を築き、子どもたちに正対し、全校体制による「知・徳・体」のバランスのとれた「本丸の教育」を一貫して推し進めていく。

6 年度の重点目標

昨年度創立70周年を迎えた。今年度はより一層教職員が力を合わせて、「本丸ファミリー」の意識をもって、生徒の「生きる力」を育む。

「リスペクト精神」と「本丸魂」を旗頭とし、生徒の話し合い活動や異学年交流等の「関わり合い」に重点を置く。さらに、子どもたちの自主的な取組を活性化させて、自己有用感や自尊感情を高める教育（ライフスキル教育等）を積極的に実践する

7 年度の努力事項

「チーム本丸」での全校体制による取組

○基礎・基本を大切に、「当たり前の事が当たり前」にできる生徒を育てる。

○健康教育、食育を推進し、健康増進・体力向上と望ましい生活習慣の確立を図る。

○生徒会活動や特別活動で「関わり合い」を意図的・計画的に取り入れ、良好な人間関係づくりと自己有用感、自尊感情の育成を図る。

○生徒の実態に沿った授業づくり等の研修を進め、全教職員で授業力を高める。

8 研修・研究

(1) 研究主題

自己有用感を育み、互いを認め高め合える生徒の育成～関わり合いの目的の明確化と手立ての具体化を通して～

(2) 研究内容

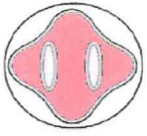
①3つのプロジェクトにより、「本丸の生徒」を育てる。
・他者との関わり合いをとおして、学びを深めることができる生徒（学力向上）

・自己有用感をもち、互いに認め合い高め合う生徒（豊かな心）

・健康な体力づくりを考え、主体的に生き生きと活動する生徒（食と健康・体力向上）

②再来年度からの新学習指導要領に沿った職員研修・授業改善を進める。

～キャリア教育、道徳教育等～



第一中学校

住所 新発田市御幸町4丁目5番25号
 TEL 0254-23-1151
 FAX 0254-24-1026
 URL shibata-1.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和22年5月24日

(2) 教職員



校長 佐藤 政志



教頭 伊藤 真哉

教諭	26	養護教諭	1	事務職員	2
講師	1	補助教員	0	図書館司書	1
介助員	5	用務手	1	SSS	1
SC	1	運搬パート	1	ALT	1

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	4	4	4	4	16
男	60	59	63	15	197
女	51	58	63	5	177
計	111	117	126	20	374

2 地域の概要

本校は、新発田市の中央部に位置し、11町内からなる新旧混在している地区である。学区には御免町小学校、東豊小学校の2小学校がある。

保護者や地域の住民は、学校教育に関心が高く、協力的である。第一中学校区「未来を築く子どもを育てる会」を組織し、学校と地域が連携して児童生徒の健全育成を図っている。

3 教育目標

目標をもち
 自ら考え
 ねばり強く実践する生徒

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- (1) 知の領域
- 十分に思考する資質・能力を伸ばす。
 - 家庭学習に対する意欲を高める。
- (2) 徳の領域
- 自己肯定感を高める。
 - 相手の立場になって考える力を高める。
- (3) 体の領域
- 総合的な体力づくりへの意欲を高める。
 - メディア対応力を定着させる。

5 学校の経営方針

- (1) 目指す学校像
 笑顔あふれる学校 魅力ある学校
 ～保護者・地域とともに歩む学校づくり～
- (2) 目指す授業像
 課題の発見と課題の解決に向けた「主体的・対話的で深い学び」のある授業の創造
- (3) 開かれた学校づくりの推進
- (4) 生徒と向き合うゆとりの確保
- (5) 配慮事項
- ① 確実な組織マネジメント（PDCA）サイクルの実行による教育活動の見直し
 - ② 短期及び長期の見通しを踏まえた計画・立案・審議
 - ③ 生徒による地域貢献活動の推進

6 年度の重点目標

- (1) 知の領域
 共に学び合い、思考を深め、広げていく生徒の育成
- (2) 徳の領域
 思いやりの心と強い正義感をもち、互いに信頼し合う生徒の育成
- (3) 体の領域
 基本的な生活習慣を身に付け、進んで運動の楽しさや喜びを求める生徒の育成

7 年度の努力事項

- (1) 知の領域
- ① 「目標」「課題」「まとめ」「振り返り」のある授業
 - ② 「思考力・判断力・表現力」を伸ばす授業
 - ③ 自ら取り組む家庭学習の工夫
- (2) 徳の領域
- ① 「考え、議論する道徳」の実践
 - ② 全校体制で取り組むいじめ見逃しゼロ活動（人権教育、同和教育）の充実（SNS対応も含む）
 - ③ 異学年交流活動、職場体験の充実
- (3) 体の領域
- ① 基本的な生活習慣の定着（食育も含む）
 - ② メディア接触をコントロールする力の育成
 - ③ 体育科・部活動での体力向上

8 研修・研究

- (1) 研究主題
 「主体的・対話的な学びを通して、深い学びの実現を目指す生徒の育成」
 ～思考を活性化するための工夫～
- (2) 研究内容
- ① 「深い学びの実現を目指す生徒」の姿を目指した「分かる・できる授業」の展開
 - 全教員が授業を公開し実践研修を進める。
 - ② 家庭学習の充実に向けた取組の推進
 - 「学習タイム」を終学活に設定し、家庭学習の立案を行う。



猿橋中学校

住 所 新発田市住吉町1丁目7番1号
 TEL 0254-23-1175
 FAX 0254-23-6185
 URL saruhashi-j.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和24年4月1日

(2) 教職員



校長 本間 道夫



教頭 清野 正康

主幹教諭	1	教諭	33	事務職員	1
講師	3	養護教諭	1	養護助教諭	1
介助員	5	用務手	1	図書館事務	1
スクールサポーター	1				

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	6	6	5	5	22
男	101	87	80	14	282
女	83	92	86	5	266
計	184	179	166	19	548

2 地域の概要

新発田市西部に位置し、猿橋小学校と住吉小学校からはほぼ同数入学してくる。校区は、市外周辺からの交通の便がよく、大型店舗等ができた宅地造成も進み、年々人口が増加している。

保護者は、教育的関心が高く、学校に対する期待が大きい。猿橋中学校区すこやかなこどもを育てる会を中心に、生徒の健全な心身の発達に向けた活動など、学校の教育活動に協力的である。

3 教育目標

『正しく 強く 大らかに』

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

生徒は、学習に対して友だちと学び合いながら前向きに取り組んでいる。また、部活動や生徒会活動、ボランティア活動に積極的に取り組み、自らを高めようとする意欲や学校に対する愛校心が高い。

さらに、お互いを認め高め合う互恵的な学びや活動を通して、正しいことを強い意志をもって行動し、仲間や教師を受け入れる広く大らかな気持ちをもった生徒を育成する。

5 学校の経営方針

学校経営の具体的な方向性を「豊かな心を育む教育の充実」をベースとした「確かな学力の向上」「健やかな身体の育成」とし、教育目標「正しく 強く 大らかに」の具現化に向けて、特色ある学校づくりに努めていく。

目指す学校の姿

- 生徒が毎日笑顔で登校し、充実した生活を送り、笑顔で下校できる学校
- 保護者・地域など、関わるすべての人が当事者意識をもって取り組む学校

6 年度の重点目標

- (1) 正しい心の成長（豊かな心）を育む教育の充実
- (2) 確かな学力の向上を目指す教育の推進
- (3) 健やかな身体の育成
- (4) 地域・保護者・関係機関との連携・協働の推進

7 年度の努力事項

- (1) 「生徒の良さ」を見つけ、褒めて伸ばす教育活動を展開する。
- (2) 社会性育成に向けて年間を通じて社会貢献・ボランティア活動を取り入れ、生徒の自尊感情、自己有用感を高める。
- (3) 道徳の授業はもとより学校生活のあらゆる場面で人権感覚を磨き、他人の良さを認め合い、支え合うことのできる集団の育成に努める。
- (4) 「命」の大切さを学ぶ機会をつくり、自他の生命尊重の心を育てる。
- (5) 教科の授業および特別活動や部活動等を通じて生徒同士および生徒と教師の関わり合う時間の充実を図る。
- (6) 常にアンテナを高く、生徒の声に耳を傾け、丁寧に話を聞く姿勢をもつ。
- (7) 授業の目標、課題、授業の流れを明確にし、生徒の学習意欲を喚起し、生徒が主体的に学ぶことができるように1時間の授業を工夫する。
- (8) 教師から生徒への一方向の指導や単なる知識の伝達ではなく、生徒同士の意見交換や生徒と教師の関わり合いを大切に授業実践を工夫する。
- (9) 授業の振り返りを大切にし、生徒が日々の成長を実感できる指導を工夫する。

8 研修・研究

(1) 研究主題

『互恵的に学び、共に成長できる生徒の育成』

(2) 研究内容

① 2段階の課題がある授業の展開

- ア 共有の課題とジャンプの課題による授業の構成
- イ 基礎学力の習得と学習意欲の喚起、学習の振り返り

② 学習形態の工夫

ア コの字型机配置による仲間の意識化

イ 4人グループによる学び合い

③ 全員が学習に参加するための基礎づくり

ア 学習の見通しをもたせる工夫

イ ユニバーサルデザインの推進によるシンプル化

ウ 学習の振り返りによる共有化

エ 「学習三原則」と「学びの作法」の継続指導

④ 家庭学習の習慣化の定着

ア 自主学習メニューによる課題提示

イ 生活スケジュールによる学習時間の確保



東中学校

住 所 新発田市五十公野 4 9 8 1 番地
 TEL 0 2 5 4 - 2 2 - 3 8 2 4
 FAX 0 2 5 4 - 2 6 - 3 5 4 3
 URL higashi.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和 4 7 年 4 月 1 日

(2) 教職員



校長 新保 英博



教頭 宮川 佳代子

教諭	17	養護教諭	1	事務職員	1
非常勤講師	1	補助教員	0		
介助員	3	用務手	2		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	2	2	2	2	8
男	41	34	27	9	111
女	29	32	27	4	92
計	70	66	54	13	203

2 地域の概要

本校は、新発田市の南東部に位置し、学区は北西から南東にかけて18.5km、北から西10km、総面積213.59平方kmと広大な地域を有する。

東に二王子・五頭・飯豊の連峰を望み、加治川や荒川川沿いに平地が開ける。従来から稲作と畑作等の農業が盛んである。

学区には、松浦地区、五十公野地区、米倉・赤谷地区の3区がある。平成30年度に各地区の小学校が統合し、東小学校が発足した。

学区にはスポーツ施設や公園などがあり、学校周辺は緑豊かな環境である。

3 教育目標

「進んではげむ 心ゆたかな生徒」

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

当校の生徒は、純朴でまじめであり、出された学習の課題にこつこつと真面目に取り組む生徒が多い。また、体育祭や音楽祭の学校行事に真剣に取り組む、達成感・連帯感を味わっている。

一方、人間関係づくりの不得手なことが原因と思われる様々なトラブルが見られ、生徒のかかわり合う力・社会性の育成が、学力向上とともに大きな課題である。そのため、すべての教育活動において「かかわり合い」をとおして、生徒が互いに教え合い、認め合い、鍛え合う人間関係づくりを進めていく。

5 学校の経営方針

(1) 「保護者・地域に信頼される学校」

生徒アンケートや保護者評価、学校評議員の評価等、学校評価を活用し、生徒・保護者の学校生活の充実感や満足度の向上を目指す。

(2) 「よさを発揮し合う職員集団」

個々の教職員がそれぞれの持ち味を発揮し、高め合い、補完し合う。

6 年度の重点目標

【知育】 教え合って学ぶ生徒

【徳育】 認め合って生きる生徒

【体育・健康】 鍛え合って育つ生徒

7 年度の努力事項

(1) 「教え合って学ぶ生徒」

① 学力実態を的確に分析し、学習内容の確実な習得のための鋭角的で実効性のある対策を立て、全校体制で共通実践を進める。

② すべての教科等で「主体的・対話的で深い学び」のための「学習課題とまとめの在り方」について研究し、「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感できる授業づくりを推進する。

③ 適切な学習課題の工夫と家庭学習の習慣化に取り組む。

(2) 「認め合って生きる生徒」

① 特別活動や福祉教育の充実により、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。

② 自らの成長を実感できるような学習過程を取り入れた「考え、議論する道徳」授業の工夫に努める。

③ 関わり合う喜びを実感させ、コミュニケーションや人間関係づくりの能力を育成する。

(3) 「鍛え合って育つ生徒」

① 体力や健康状態を的確に把握し、運動機会が確保されるように努める。

② 家庭や地域との共有を図り、健康教育や食育を一層充実させるなど、生活習慣の改善を図る。

8 研修・研究

(1) 研究主題

かかわりを大切にし、互いに高め合う生徒の育成～深い学びを実現するための

「学習課題」と「まとめ」の在り方～

(2) 研究内容

① 深い学びを実現するための「学習課題」の工夫
生徒にどのような力を付けさせるかを明確に持ち、何を学ばせるかに焦点づけた学習課題を用意する。

② 「学習課題」に正対した「まとめ」の在り方
何を学んだかを実感させるために分かりやすく板書する。

③ 主体的・対話的な学びにするための授業過程の工夫
全体・グループ・ペア学習など、ねらいに合わせて学習形態を工夫し、話し合いや交流の視点を明確に持たせる。



川東中学校

住 所 新発田市下羽津1566-1
 TEL 0254-25-2011
 FAX 0254-25-2022
 URL kawahigashi-j.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和21年5月1日

(2) 教職員



校長 三村 孝志



教頭 本間 祐一

教諭	9	養護教諭	1	事務職員	1
講師	2	補助教員	0		
介助員	1	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	1	1	1	2	5
男	10	17	9	10	46
女	13	12	14	0	39
計	23	29	23	10	85

2 地域の概要

市域の東端に位置し、田園地帯に点在する25集落からなる。教育に対する関心が高く、学校への期待は大きい。

近年、生徒数が減少の一途を辿っており、「教育村」と称されてきた川東地区にも、将来に向け、新しい教育課題が生じている。

3 教育目標

「正しく 強く 心豊かに」

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

(1) 「知の分野」

素直で何事にも真面目に取り組む生徒が多いが受動的である。

- ア 探求的な意欲や態度を育てる。
- イ 自主的な学習態度や学習習慣を育てる。

(2) 「徳の分野」

一小一中のため人間関係が狭く固定化しており、自分の能力を十分に発揮できないところがある。

- ア 自己肯定感を高めながら、お互いを尊重し切磋琢磨する人間関係を築く。
- イ 夢や目標に向かって努力し続ける心を育てる。

(3) 「体の分野」

ア 体力テストで持久力が県平均より劣っているので持久力を高める。

- イ 栄養バランスを考えた食事、メディアコントロールを考えた生活など、家庭と連携して生活習慣を向上する。

5 学校の経営方針

(1) 育てたい生徒像

- ア かわわり合って学び合い、意欲的に学習に取り組む生徒
- イ 自他のよさを認め合い、勇気をもって挑戦する生徒
- ウ 心身ともに健康で「心を豊かにする活動」を日常実践できる生徒

(2) 経営の重点

- ア カリキュラム・マネジメントに基づく指導計画を作成・実施し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。
- イ 知識・技能の確かな習得を基盤に、自らの考えをもち、互いに高め合う生徒を育成する。
- ウ ストレス・マネジメント教育の考え方を教育活動に取り入れ、知・徳・体のバランスのよい成長を図る。
- エ 生徒が前面に出る活動を推進する。
- オ 家庭や地域との連携強化を図る。
- カ 地域コミュニティの中核としての学校づくりを推進する。

6 年度の重点目標

- (1) 「知の分野」：各教科の本質に沿った「主体的・対話的で深い学び」の実現、コミュニケーション能力の向上を図る教育の推進
- (2) 「徳の分野」：豊かな心を育てる教育の推進
- (3) 「体の分野」：たくましく生きる力を育む健康体力の向上を図る教育の推進

7 年度の努力事項

- (1) 学校体制で「学び合い」の授業に取り組み、思考力、判断力、表現力を身につけた生徒を育てる。
- (2) 主体的に家庭学習に取り組む生徒を育てる。
- (3) 全教育活動をストレス・マネジメントの視点で捉え、自他のよさを知り、許し励ましあい高め合い、可能性に挑戦する実践力を育てる。
- (4) 生徒の人権を尊重し、良さを認め勇気づけるアプローチを繰り返し、自尊感情を高める。
- (5) 情報発信の充実を図る。
- (6) 「二王子会」組織を機能させ、保小中連携を強化する。

8 研修・研究

(1) 研究主題

自ら考え、互いに高め合う生徒の育成
～考え議論する道徳を目指して～（1年次）

(2) 研究内容

ア 知識・技能の確かな習得とコミュニケーション能力を高めるための「学び合う授業」
→「考え議論する道徳」の展開と評価について重点的に研究

- (ア) 知識・技能の確かな習得
- (イ) コミュニケーション能力を高める工夫
- (ウ) 「学び合い」の種類や場面
- (エ) 昨年度までの成果と課題
- (オ) 「学び合う授業」の方向
- イ よりよいかかわり合いができるための集団づくりや自己肯定感を高める取組
 - (ア) 小集団の活用
 - (イ) Q-Uを活用した学級づくり
 - (ウ) ストレス・マネジメントの指導の体系化



七葉中学校

住所 新発田市大字上館乙84番地2
 TEL 0254-22-3524
 FAX 0254-26-3621
 URL nanaha-j.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和55年4月1日

(2) 教職員



校長 野澤 一吉



教頭 今野 由紀子

教諭	12	養護助教諭	1	事務主事	1
講師	1	補助教員	1	栄養主査	1
介助員	1	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	2	2	2	2	8
男	18	22	19	9	68
女	24	22	19	0	65
計	42	44	38	9	133

2 地域の概要

学区は、新発田市の北東に位置し、要害山と加治川に囲まれた自然豊かな地域である。また、学区は国道7号線が通っていることから住宅地の開発も進んでいる。加治川、坂井川沿いに、菅谷・熊出地区から上館・三日市地区までと広大である。生徒はコミュニティバスを利用し、通学している。

3 教育目標

「磨け自己 高めよ理想」

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 自らの課題を解決する姿勢や実践力にやや不十分さが見られることから、自主的な態度や自己有用感を高める。
- 人権感覚に乏しい言動が時にあることから、人権意識をさらに高める。
- メディアの利用形態が多様化している中で、生活習慣を見直させる。
- 自分の能力やよさを伸ばし、生き方を追求する。

5 学校の経営方針

誇りとなる学校
 —生徒、保護者・地域、教職員が築く学校—

生徒に自治の精神の下での活動に取り組みせ、「学び」を実現し、生徒、保護者・地域にとって「誇りとなる学校」を目指す。

「学び」の実現には、教職員が、生徒に活動の目標と意味を認識させ、事前指導—活動支援—事後指導サイクルによる、責任と成果を自覚させる。

教職員は、鋭敏かつ柔軟な示唆、凜とした指導、温とした支援、親とした理解を実践しながら、自身の教育観を再構築する。

6 年度の重点目標

- 学習を振り返り目標と意欲をもって学習する生徒
 - 言語活動を重点として、知識・技能を活用する授業を実践する。
 - 研究主題に迫る「学び合い」についての授業モデルを検証する。
- 自己有用感を高め、思いやりをもって自他共に認め合える生徒
 - 「考え、議論する道徳」の授業を実践する。
 - 生徒会が、月目標を定め、思いやり・協力・感謝の視点で自治活動に取り組む。
- 生活習慣を改善し、健康で体力向上に努力できる生徒の育成
 - 「1学校1取組」を実践する。

7 年度の努力事項

- 学校評価(年2回)を実施して、学校運営の改善を図る。
- 「全校体制での特別支援教育」の取組
生徒や保護者と相談し、合理的配慮の下で、指導・支援内容を確認する。
- 人権尊重の心を育てる人権教育、同和教育の取組
年間指導計画に基づいて、副読本『生きるIV』活用した授業を実践する。
- 生き方を追求するキャリア教育の取組
- 新学習指導要領の趣旨に基づいた教育課程の改善
- 「開かれた学校づくり」の取組
学校経営方針、いじめ予防の取組及びグランドデザインを保護者に説明する。

8 研修・研究

(1) 研究主題

「自ら」の学習を振り返り、
 目標と意欲をもって学習する生徒の育成
 ～基礎・基本の定着と思考力・表現力
 の伸長を目指して～

(2) 研究内容

- 「学び合い」を取り入れた授業
全教職員による年1回の公開授業
- 「考え、議論する道徳」の推進
- 総合的な学習の時間の再構築
- 3年間を見通したキャリア教育の推進



佐々木中学校

住 所 新発田市則清102番地
 TEL 0254-27-2505
 FAX 0254-27-2229
 URL sasaki-j.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和22年5月17日

(2) 教職員



校長 星 和富



教頭 角 直浩

教諭	8	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員	0		
介助員	0	用務手	2		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	1	1	1	1	4
男	16	13	10	2	41
女	5	6	9	0	20
計	21	19	19	2	61

2 地域の概要

純農村地域で、佐々木村として、早くから、一小一中で学校を設置していた。ほぼ全員が自転車通学をしているが、旧豊栄市に隣接する鳥穴、砂山地区だけは、冬はバス通学となる。学校は、大型商業施設などが立ち並ぶ新発田市の新興住宅地の近くに位置しているが、市内の他の中学校との交流は比較的少ない。

少人数であるためか、保護者は学校行事やPTA活動に大変協力的である。また、佐々木中学校体育文化後援会、佐々木中学校同窓会、さわやか佐々木っ子育成会、自治会を中心としたコミュニティー等学校をサポートする組織も整っている。

3 教育目標

よく考え、進んで実践する生徒

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健康・体力の育成

5 学校の経営方針

- 〈広げる〉 生徒同士の思いやりの心を広げる
- 〈深める〉 基礎学力の徹底を図り、自ら学び、考え、表現できる力を深める
- 〈広げる〉 生徒が学びを深め、体験し、その成果を発表する場や機会を広げる
- 〈鍛える〉 励まし合い取り組むことで、一人一人の心身と全員の絆を鍛える
- 〈広げる、深める〉 生徒の興味関心を広げ潜在能力を刺激する

6 年度の重点目標

- (1) いじめを見逃さない生徒の集団づくり
- (2) 学習指導を充実し、生徒の基礎学力を基盤にして「活用力」を深める授業の推進
- (3) 地域と連携した総合学習の充実
- (4) 「困難に打ち克つ心」や「たくましい心身」「じっくり腰を据えて取り組む習慣」の育成
- (5) キャリア教育の推進
- (6) 道徳科の指導の定着

7 年度の努力事項

- (1) 確かな学力の育成を目指す教育の推進
- (2) 豊かな心を育む教育の推進
- (3) いじめ、不登校、非行の防止
- (4) 健やかな体の育成と安全・安心を守る防災教育の充実
- (5) 協働の実施、学校間の連携及び家庭、地域、関係機関との行動連携
- (6) 学校評価の確実な実施と、教職員の資質・指導力の向上

8 研修・研究

(1) 研究主題

豊かなかかわりを通して、考えを深める生徒を育成する

(2) 研究内容

それぞれの教科領域等で培った知識を、学習や生活の中で活用する力「活用力」の向上を図る。そのために、生徒の自己決定力、判断力を高め、対話的な学習の場面を意図的に活用していく必要がある。教科の特性を生かしつつ、教科横断的な視点に立った授業を展開する。



豊浦中学校

住 所 新発田市乙次50番地
 TEL 0254-24-4492
 FAX 0254-24-4450
 URL toyoura.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和50年4月1日

(2) 教職員



校長 森谷 優子



教頭 天矢 康之

教諭	11	養護教諭	1	事務職員	1
講師	1	補助教員	1		
介助員	1	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	2	2	1	2	7
男	25	24	15	5	69
女	26	25	18	1	70
計	51	49	33	6	139

2 地域の概要

東に真木山、西に福島潟を臨む美しく雄大な自然の中に位置している。保護者の学校への期待は大きく、大変協力的であり、生徒の育成を図る教職員の責務は大きい。

3 教育目標

言葉と心のキャッチボール
 ～Let's play catch
 with our words and hearts.～

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- (1) 自分の思いや考えを周囲に伝える表現力
- (2) 支える喜び、支えられる喜びを知り、自ら進んで居場所や仲間を求められる力
- (3) 社会に広く目を向け、世のため、人のために責任を果たす力

5 学校の経営方針

学校は、教育は、一人残らずすべての人が幸せになるためにあるを基本理念に、「学校に集う大人も子どもも幸せな学校」づくりを推進する。

- 子どもの笑顔と活力があふれる学校
- 職員の協働で質の高い教育を提供する学校
- 地域・社会から信頼される学校

6 年度の重点目標

- 主体的・対話的で、深い学びのある授業
- 自他を大切に合意形成する特別活動

7 年度の努力事項

- (1) 主体的・対話的で、深い学びのある授業
 - ① 「見方・考え方」を追究する校内研修
 - ② 「学び合う活動」を取り入れた授業の推進
 - ③ 特別支援教育の視点を入れた授業改善
 - ④ 授業規律の徹底
 - ⑤ 小学校と連携した学力の向上策や家庭学習習慣化の検討、実践
 - ⑥ 生活習慣改善に向けての保護者との連携強化
 - ⑦ 学力実態の的確な把握と分析、対応策の工夫
 - ⑧ ICT機器等の環境整備

(2) 自他を大切に合意形成する特別活動

- ① 聴き合う関係の構築
- ② 国語科を中心にした、話し合いの仕方や方法など横断的な力の育成
- ③ 自ら課題を設定し、課題解決に向けて話し合う学級活動の充実
- ④ 自己存在感・自己有用感を育成する生徒会スキルネットワーク活動
- ⑤ 地域と連携した教育活動
- ⑥ PDCAサイクルで改善を図り、目指す資質・能力育成のためのカリキュラムマネジメント

8 研修・研究

(1) 研究主題

「かわり合い、互いに高め合う集団の育成」
 生徒同士、生徒と教師という人間関係、生徒の生活体験と教材、生徒と活動場所の自然や文化、地域の人々との交流
 感じたこと、学んだことなど自分の考えをまとめ、互いに考えを深め、高め合う集団の育成

(2) 研究内容

①学習指導研修

「主体的・対話的で、深い学び」の実現、学ぶ楽しさや分かる喜びが実感できる「新発田市授業スタンダード」に基づく授業づくりを推進する。

②特別の教科 道徳の研修

学年部で授業案を検討しながら、一人1公開授業を確実に実施するとともに、成果と課題、評価方法の検討を図る研修会を行う。

③特別活動・生徒理解等の研修

「自己存在感」や「共感的な人間関係」、「自己決定」の生徒指導の3機能を作用させる研修会を行う。



紫雲寺中学校

住所 新発田市真野原外3499番地
TEL 0254-41-4000
FAX 0254-41-2235
URL shiunjihs.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和24年4月1日

(2) 教職員



校長 山田 清



教頭 廣澤 正文

教諭	13	養護教諭	1	事務職員	1
講師	0	補助教員	1	栄養教諭	1
介助員	1	用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	2	2	2	2	8
男	25	28	24	8	85
女	32	35	30	4	101
計	57	63	54	12	186

2 地域の概要

- 紫雲寺地区（旧紫雲寺町）は新発田市の北西に位置し、総面積は26.58平方キロメートルで、約2,000世帯7,000人が居住している。
- 三世帯同居が多く、生徒は家族の中で愛情を受けて育っている。

3 教育目標

『知性・自主・実践・協調』

「知性を磨き、自主自立の精神を高め、たくましい実践力を養い、協力して社会の発展に貢献する人間を育成する」

4 学校の課題（伸ばしたいところ）

- 人権感覚を高め、互いに認め合える生徒
 - いじめや差別のない社会をつくりあげようとする生徒
 - ありのままの自分を受け入れ、自分の成長を感じられる生徒
 - 他者と協力しながら問題解決を図る意欲や態度をもった生徒
- 「わかった！できた！」と感じる生徒
 - 主体的に問題を発見し、解決しようと問題に向き合う生徒
 - 新たな問題発見に主体的に向き合える生徒
- 主体的に生活リズムを整えた生活ができる生徒
 - メディアコントロールの意識を高め、自律的に行動できる生徒
 - 「早寝・早起き・朝ご飯」が励行でき、生活習慣を整えられる生徒

5 学校の経営方針

当校の教育課題「人権感覚・望ましい社会性の育成」と「確かな学力の育成」に向け、以下を実践する。これらの取組の中で教職員一人一人が力を発揮し、その力の結集を図っていく。

- 自己肯定感・自己有用感・自己効力感の醸成及び人権感覚と豊かな感性の涵養を基に互いに認め合い、関わり合える生徒の育成
- 主体的・対話的で深い学びを基にした「わかった！できた！」と感じる生徒の育成

6 年度の重点目標

- 人権感覚・望ましい社会性（自己有用感・他者と協力しながら問題解決を図る力等）の育成
- 確かな学力（読解力を基にした思考力・判断力・表現力等）の育成

7 年度の努力事項

- 人権感覚・望ましい社会性の育成
 - 人権教育、同和教育の充実
 - 「生きるIV」を活用した授業の実践
 - 「教職員研修の手引き」を活用した研修実践
 - 「考え、議論する道徳」の実践
 - 「私たちの道徳」をもとにした取組の実践
 - 指導方法や指導形態を工夫した授業の実践
 - 行事・日常生活におけるピア・サポートの充実
 - 学級内、学年内、異学年交流場面の設定
 - 学級活動等でグループワークの実施
- 確かな学力の育成
 - 「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感できる授業づくりの推進
 - 「主体的・対話的で深い学び」の推進
 - 学び直しの場の確保
 - 家庭学習習慣確立のための取組

8 研修・研究

- 研究主題
 - 「自己有用感を高める活動を通して、人権感覚を高め、互いを認め合える生徒の育成」
生徒の自己有用感を醸成するための活動を意図的に計画、実施することにより、人権感覚を高め、互いに理解し、認め合い関わり合える生徒を育成することができる。
- 研究内容
 - 学力向上・授業改革
 - UDLを基盤とする授業の展開
 - 関わり、学び合う授業の推進
 - Web配信システム、ワーク等の活用
 - 授業と関連する家庭学習課題の工夫
 - 人間関係づくり
 - 構成的グループエンカウンター、ピア・サポートの計画的実施
 - 行事等での異学年交流
 - 小集団活動の意図的な設定
 - Q-Uを活用した学級づくり
 - 生活習慣の確立
 - メディアコントロールの実施
 - 早寝・早起き・朝ご飯運動の取組



加治川中学校

住所 新発田市川口330番地
TEL 0254-33-2214
FAX 0254-33-3354
URL kajikawa-j.shibata.ed.jp

1 学校の概要

(1) 創立 昭和55年4月1日

(2) 教職員



校長 星 渉



教頭 小田 暢雄

教諭	11	養護教諭	1	事務職員	1
講師	2	補助教員	1		
介助員		用務手	1		

(3) 学級編制

学年	1	2	3	特	計
学級数	2	1	2	1	6
男	20	18	26	2	66
女	23	14	21	0	58
計	43	32	47	2	124

2 地域の概要

- 新発田市街と胎内市街の中間に位置し、JR羽越線と国道7号線が加治川地域の中央部を南北に縦断し、日本海沿岸東北自動車道も整備されている。
- 純農村地域ではあるが、兼業農家の増加、振興住宅地の人口増により変化が起きている。児童・生徒数はわずかに減少傾向にある。
- 生徒のしつけや社会的ルール等、全般的に家庭の教育力が高い。地域をあげて教育に対する期待も大きく、健全育成に協力する姿勢がある。

3 教育目標

豊かな知性を育て きびしく自己をきたえ 高め合う生徒

4 学校の課題 (伸ばしたいところ)

- 確かな学力の向上
 - 学力分布の二極化の是正に向けての基礎的学習事項が不十分な生徒への学習支援。「受信・思考・発信」を大切にした言語活動の充実。保護者と連携したP T A共通課題「家庭学習の習慣化」の取組
- 社会性や人間関係力の育成
 - 望ましい人間関係の構築に向けた相手の気持ちの想像力(思いやり力)や自分の気持ちを伝える力(自己表現力)の向上
- 将来の生き方を考えることのできる資質能力の育成
 - 自己実現のためのキャリア教育や「考え、議論する道徳授業」、いじめ予防、人権教育・同和教育
- たくましく生きるための健康や体力の育成
 - 三点固定や食育、眠育を通した望ましい生活習慣の形成

5 学校の経営方針

人とかかわり合いを通して、望ましい人間関係を築く能力の育成(学力と人間関係力を一体として人間力を高める)

- 授業の充実→各教科・領域の授業を充実することを第一義とする。35時間の道徳授業の確実な実施などカリキュラムに基づく授業を大切にする。
- 家庭学習の習慣化→P T A共通課題「家庭学習の習慣化」に取り組み、学校と家庭が一体となって家庭学習を習慣化する。学校評価で分析しフィードバックを行う。
- 生徒会活動の充実→「生徒が生徒に働きかける教育効果」を最大限発揮させ、自分たちの生活を自分たちでよりよくしていく力を育て「声・自主・規律」の浸透を自信と誇りにしていく。

6 年度の重点目標

目指す生徒像

- し** 思考し学び合う生徒(「学び合い」)
 - ば** 場と時を大切にする生徒(時間管理能力)
 - た** 大夢を抱く生徒(キャリア教育・道徳教育)
 - か** かかわりいい関係をつくる生徒(人間関係力)
 - じ** 自信の付く事実を積み上げる生徒(3つの喜び)
 - か** かけがえのない自分どう生きるかを問い続ける生徒(道徳教育・キャリア教育)
 - わ** 分かるまで、考え追究する生徒(個の追究姿勢)
- ※「3つの喜び」①自分の持ち味を生かして人の役に立つ喜び ②自分(たち)で考え、決め成功させる喜び ③仲間と協力してやり遂げる喜び

7 年度の努力事項

- 受信・思考・発信の聴き合い学び合う授業
 - 深い学びの実現に向けた、言語活動の充実
 - 学び合いのための校内研修の充実
- 豊かな心を育む教育活動の推進
 - 年間35時間の「考え議論する道徳授業」の充実
 - 「生徒が生徒に働きかける教育効果」を最大限発揮した学級活動・生徒会活動の充実
- 健やかな心身の育成
 - P T A共通課題「家庭学習の習慣化」の取組
 - 三点固定(起床、家庭学習開始、就寝の時間)
 - 食育、眠育の取組
- 3つの機能を発揮した生徒指導の充実
 - 情報共有システム(Sデータ)による対応の迅速化
 - 日常場面におけるソーシャルスキルトレーニング

8 研修・研究

(1) 研究主題

受信・思考・発信の聴き合い学び合う授業の創造～深い学びに向かう言語活動の充実～

(2) 研究内容

- 「受信・思考・発信」の質の向上。学び合う活動における課題設定やまとめ、振り返りにおける言語活動の充実
- 「授業でつながる、カリキュラムでつながる」小中連携教育の充実(乗り入れ授業や出前授業の試行、学力分析、習慣形成)

8 市立学校の統廃合、新設、分離の状況

【幼稚園】

新発田幼稚園 (大正8年設置
(昭和44～45年改築)
(平成23年3月閉園))

百園幼稚園 (昭和40年設置
(平成17年移転改築))

御免町幼稚園 (昭和42年設置
(平成11年移転改築))

加治川幼稚園 (昭和44年4月設置)

【小学校】

外ヶ輪小学校 (明治6年設置
(昭和62～63年改築))

猿橋小学校 (明治7年設置)

- 佐吉小学校 (昭和53年4月分離新設)
(平成22～23年大規模改修)
- 猿橋小学校 (平成27～28年増築)
(昭和53～56年改築)
(平成11～12年移転改築)

御免町小学校 (昭和24年設置
(平成2～3年改築))

中井小学校 (明治20年設置)

島塚小学校 (明治9年設置)

五十公野小学校 (明治6年設置)

＃いじみの学園分校 (昭和36年設置)

＃天ノ原分校 (明治44年設置)

松浦小学校 (明治16年設置)

荒川小学校 (明治7年設置)

米倉小学校 (明治6年設置
(昭和56～57年改築))

赤谷小学校 (明治7年設置)

飯豊小学校 (昭和29年設置
—昭和43年廃校)

赤谷小滝谷冬季分校 (大正12年設置
—昭和60年廃校)

川東小学校 (明治6年設置
(昭和42年改築)
(昭和63年増築))

竹俣小学校 (明治23年設置
(平成6年改築))

取野小学校 (明治41年設置
(平成7年改築))

菅谷小学校 (明治6年設置)

下中山小学校 (明治15年設置)

石川小学校 (明治16年設置)

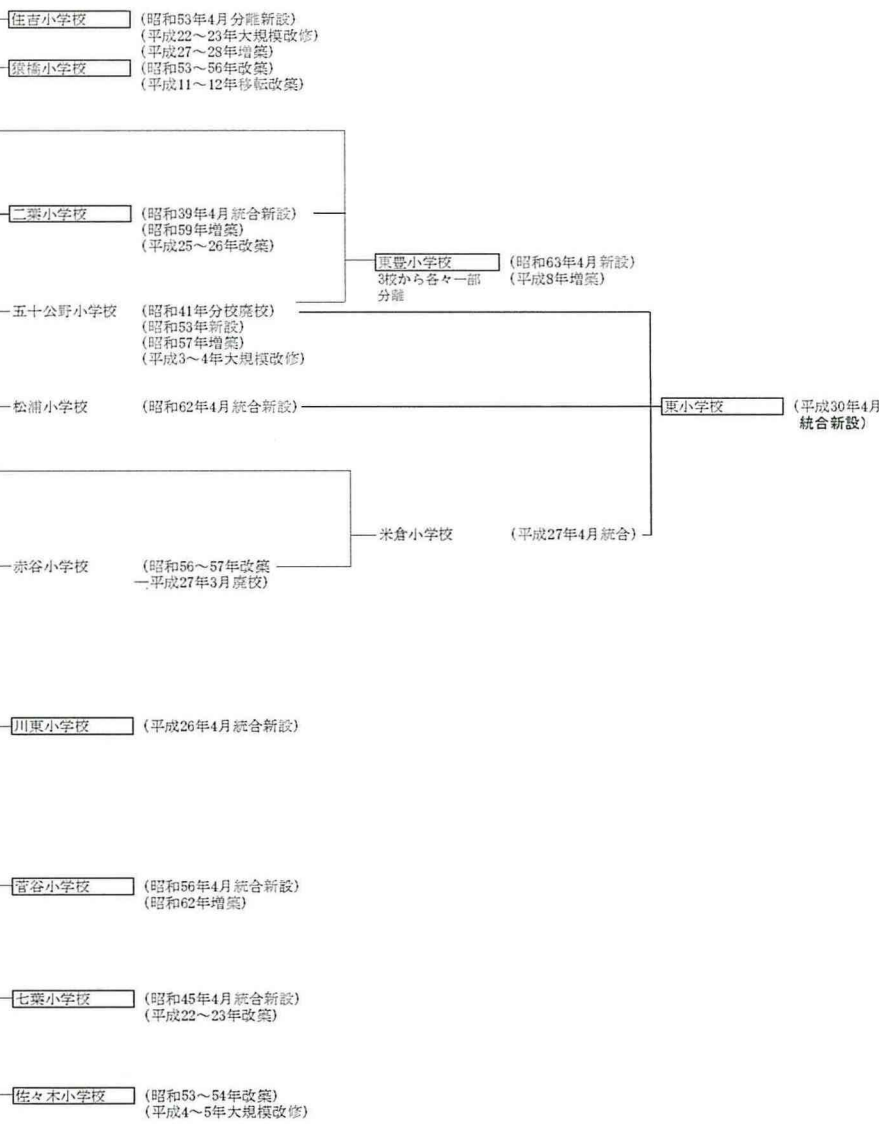
中倉小学校 (大正11年設置)

加治小学校 (明治6年設置)

＃加治分校 (明治16年設置)

佐々木小学校 (明治7年設置)

＃鳥穴分校 (明治38年設置
—昭和50年3月廃校)



中浦小学校 (明治6年設置)
(平成元年改築)

天王小学校 (明治7年設置)
(平成8年改築)

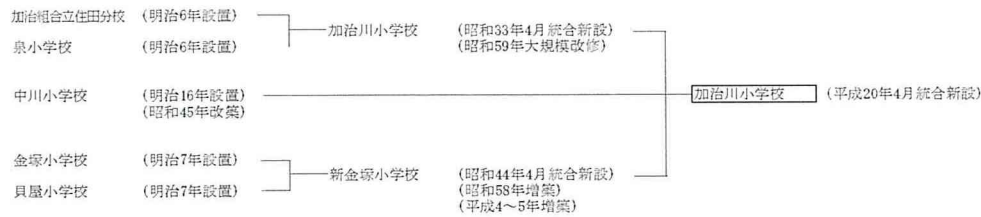
荒瀬小学校 (明治6年設置)
(昭和55年改築)

本田小学校 (明治7年設置)
(平成5年改築)

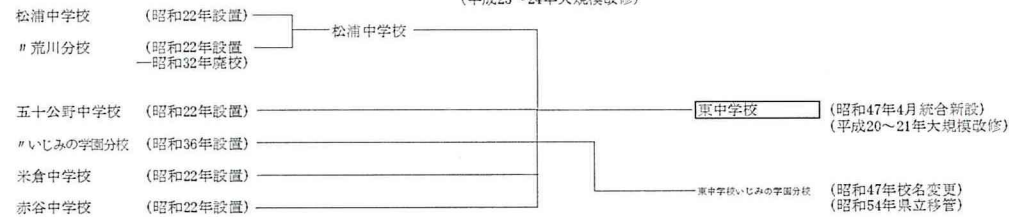
崇雲寺小学校 (明治22年設置) — 崇雲寺小学校 (平成2年改築)
大島分校 (明治7年設置) — 昭和55年3月廃校

真野原小学校 (明治17年設置) — 栄子小学校 (明治18年設置)
(昭和60年移転改築)

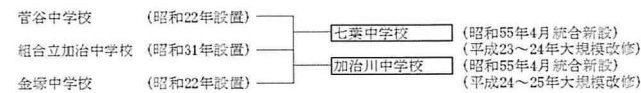
藤原小学校 (明治7年設置)
(昭和52~54年改築)



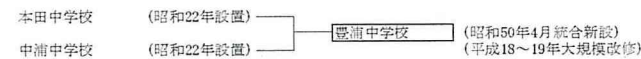
【中学校】



川原中学校 (昭和22年設置)
(昭和57~58年改築)



佐々木中学校 (昭和22年設置)
(昭和52~54年改築)
(平成23~24年大規模改修)



崇雲寺中学校 (昭和22年設置)
(昭和39年改築)
(昭和61~62年大規模改修)
(平成20~22年改築)

9 市立教育施設の状況

(令和元年5月1日現在)

	校 舎				屋内体育館				校地面積			プール施設	
	鉄筋 コンクリート	鉄骨 その他	木造	計(㎡)	鉄筋 コンクリート	鉄骨 その他	木造	計(㎡)	市有地	借地	計(㎡)	設置年度	規模(㎡)
(1)幼稚園													
西園幼稚園	790	610		1,400					9,937		9,937		
御免町幼稚園		1,368		1,368					3,000		3,000		
加治川幼稚園	15	504	927	1,446					6,593		6,593		
合 計	805	2,482	927	4,214	0	0	0	0	19,530	0	19,530		
(2)小学校													
外ヶ輪小学校	6,129		20	6,149	96	1,198		1,294	28,672		28,672	平成元年度	375
猿橋小学校	6,942	51		6,993	1	1,494		1,495	30,712		30,712	平成12年度	375
御免町小学校	5,575	119	30	5,724	58	1,506		1,564	26,551		26,551	平成3年度	375
二葉小学校	5,281		145	5,426	22	1,142		1,164	25,092		25,092	平成27年度	325
東小学校	5,784			5,784	59	723		782	18,601		18,601	平成30年度	325
川東小学校	3,487			3,487		964		964	16,945		16,945	平成26年度	325
菅谷小学校	2,775	26	224	3,025		720	55	775	24,241		24,241	昭和51年度	250
七葉小学校	4,660	8		4,668	150	648		798	16,172		16,172	平成16年度	325
佐々木小学校	3,269	5	35	3,309		704		704	18,262		18,262	昭和44年度	325
住吉小学校	5,626	39		5,665	147	857		1,004	23,014		23,014	昭和52～53年度	325
東豊小学校	5,395		20	5,415	35	1,200		1,235	26,988		26,988	昭和63年度	325
中浦小学校	2,822		19	2,841	21	825		846	22,947		22,947	平成9年度	335
天王小学校	2,862		20	2,882	23		866	889	25,769		25,769	平成18年度	250
荒橋小学校	1,972		33	2,005		720		720	17,313		17,313	平成19年度	250
本田小学校	3,066		20	3,086	10	822		832	20,807		20,807	平成17年度	325
紫雲寺小学校	4,532		33	4,565	112	1,124		1,236	24,260		24,260	昭和59年度	500
米子小学校	2,559	32	60	2,651	23	995		1,018	24,043		24,043	平成4年度	400
藤塚小学校	2,370			2,370		884		884	21,935		21,935	昭和54年度	400
加治川小学校	4,885		136	5,021	230	1,040		1,270	33,769		33,769	平成20年度	325
合 計	79,991	280	795	81,066	987	17,566	921	19,474	446,093	0	446,093		6,435
(3)中学校													
本丸中学校	7,485		23	7,508		1,543		1,543	37,925		37,925		
第一中学校	5,489		45	5,534	68	1,323		1,391	35,245		35,245		
猿橋中学校	6,042		10	6,052	28	1,470		1,498	33,675		33,675		
東中学校	4,756	147		4,903		1,539	26	1,565	34,773		34,773		
川東中学校	2,926	41	20	2,987		1,191		1,191	22,032		22,032		
七葉中学校	3,464	14	28	3,506	11	1,244		1,255	31,762		31,762		
佐々木中学校	2,808		100	2,908		810	10	820	20,591		20,591		
豊浦中学校	4,904	98	72	5,074	41	2,016		2,057	33,096		33,096		
紫雲寺中学校	3,915		66	3,981	2,007			2,007	49,336		49,336		
加治川中学校	3,947	59	20	4,026		1,687		1,687	35,196		35,196		
合 計	45,736	359	384	46,479	2,155	12,823	36	15,014	333,631	0	333,631		0
小・中学校合計	125,727	639	1,179	127,545	3,142	30,389	957	34,488	779,724	0	779,724		6,435

10 年度別義務教育施設等の整備状況

(単位：千円)

建築年度	小 学 校		中 学 校	
	事 業 名	事 業 費	事 業 名	事 業 費
平成26年度	二葉小学校校舎改築事業第Ⅱ期工事	929,030	佐々木中学校コンピューター室ガスヒートポンプ改修工事	5,249
	二葉小学校外構工事	10,735	その他中学校施設の工事	9,987
	二葉小学校旧校舎解体工事	162,346		
	五十公野小学校仮設校舎建設工事（Ⅰ期分）	144,018		
	五十公野小学校プール解体工事	10,066		
	荒橋小学校体育館耐震補強工事	44,464		
	その他小学校施設の工事	31,991		
	計	1,332,650	計	15,236
平成27年度	住吉小学校校舎増築工事（Ⅰ期）	128,634	第一中学校グラウンド防球防砂ネット設置工事	13,792
	藤塚小学校校舎耐震補強改修工事	67,316	本丸中学校玄関アプローチ外灯設置工事	1,156
	川東小学校グラウンド整備工事	74,358	その他中学校施設の工事	16,283
	二葉小学校プール新築工事	135,616		
	菅谷小学校校舎耐震補強改修工事	70,060		
	五十公野小学校屋内体育館トイレ増築工事	27,475		
	五十公野小学校仮設校舎建設工事（Ⅱ期分）	28,609		
	五十公野小学校解体工事	155,747		
	その他小学校施設の工事	72,937		
	計	760,752	計	31,231
平成28年度	住吉小学校校舎増築工事（Ⅱ期）	300,147	本丸中学校体育館床塗装改修工事	4,860
	御免町小学校特別支援教室増築工事	57,024	その他中学校施設の工事	18,305
	五十公野小学校仮設校舎建設工事（Ⅲ期分）	15,563		
	東小学校校舎建設工事（Ⅰ期）	523,357		
	旧五十公野共同調理場解体工事	8,176		
	その他小学校施設の工事	34,123		
	計	938,390	計	23,165
平成29年度	五十公野小学校仮設校舎建設工事（Ⅳ期分）	16,205	加治川中学校給水管ライニング工事	12,809
	東小学校校舎建設工事（Ⅱ期）	1,225,400	加治川中学校バックネット改築工事	5,335
	東小学校外構、雨水排水工事	95,154	その他中学校施設の工事	12,188
	二葉小学校グラウンド改修工事（Ⅰ期）	46,516		
	住吉小体育館屋根雪対策工事	3,780		
	その他小学校施設の工事	28,148		
	計	1,415,203	計	30,332
平成30年度	東小学校建設事業（仮設校舎解体工事、プール及びグラウンド整備）	304,666	東中学校武道場改築事業	165,501
	住吉小学校グラウンド整備工事	198,012	その他中学校施設の工事	38,933
	二葉小学校グラウンド整備工事（Ⅱ期）	65,988		
	豊浦中学校区統合小学校整備事業	46,336		
	その他小学校施設の工事	32,683		
	計	647,685	計	204,434

11 令和元年度園児・児童・生徒・学級数等一覧

(幼稚園)

(令和1.5.1現在)

区分 園名	3 歳 児				4 歳 児				5 歳 児				合 計			
	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数
西園幼稚園					募 集 停 止											
御免町幼稚園	4	14	18	1	9	12	21	1	12	9	21	1	25	35	60	3
加治川幼稚園					6	6	12	1	3	4	7	1	9	10	19	2
合 計	4	14	18	1	15	18	33	2	15	13	28	2	34	45	79	5

(令和1.5.1現在)

(小学校)

区分 学校名	1年				2年				3年				4年				5年				6年				合計			
	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数
外ヶ輪小学校	4	3	7		2	34	34	2	3	2	5		4	24	31	2	3	1	4		1	1	2		17	7	24	5
猿橋小学校	22	16	38	2	6	3	9		6	1	7		6	3	9		6	2	8		6	2	8		37	14	51	9
御免町小学校	7	3	10		56	45	101	4	51	51	102	3	45	70	115	4	53	43	96	3	43	47	90	3	285	310	595	20
二葉小学校	5	3	8		2	3	5		6		6		3	1	4		9	2	11		4	1	5		29	10	39	8
東小学校	34	35	69	3	28	35	63	2	48	44	92	3	32	45	77	3	27	39	66	3	46	45	91	3	215	243	458	17
川東小学校	4	1	5		2	1	3		5		5		3		3		1	1	2		3	3	6		17	3	20	3
菅谷小学校	17	21	38	2	23	28	51	2	22	29	51	2	20	15	35	1	28	22	50	2	23	20	43	2	133	135	268	11
七葉小学校	4	1	5		3	1	4		4		4		2	1	3		4	2	6		1	1	2		18	6	24	4
佐々木小学校	29	28	57	2	30	41	71	3	36	35	71	2	33	37	70	2	35	29	64	2	32	40	72	2	195	210	405	13
住吉小学校	13	12	25	1	2	17	19	2	1	15	16	1	13	13	26	1	20	20	40	2	16	14	30	1	94	91	185	8
天王小学校	5	4	9	1	4	1	5	複式1	4	4	8	—	4	7	11	1	8	5	13	1	3	8	11	1	28	29	57	5
藤塚小学校	3	1	4		6	1	7		4	2	6		2		2		1		1		2		2		18	4	22	4
米子小学校	8	14	22	1	15	13	28	1	15	18	33	1	8	17	25	1	15	11	26	1	8	8	16	1	69	81	150	6
加治川小学校	9	14	23	1	2	10	12	1	1	2	3		1	8	9	1	4	14	18	1	12	9	21	1	54	66	120	6
菅谷小学校	3	5	8		3	1	4		8	5	13		3	2	5		7	1	8		3	1	4		27	15	42	9
猿橋小学校	52	64	116	4	42	37	79	3	43	44	87	3	40	37	77	3	43	43	86	3	52	42	94	3	272	267	539	19
御免町小学校	2	3	5		4	2	6		1	1	2		2	1	3		6	1	7		4	1	5		19	9	28	4
菅谷小学校	48	43	91	3	45	37	82	3	47	45	92	3	39	36	75	3	39	42	81	3	41	31	72	2	259	234	493	17
菅谷小学校	1		1		6	14	20	1	8	12	20	1	7	10	17	1	8	7	15	1	16	4	20	1	55	59	114	6
菅谷小学校	10	12	22	1	9	3	12	1	5	6	11	1	4	9	13	1	8	2	10	1	10	4	14	1	41	29	70	6
菅谷小学校	5	5	10	1	9	3	12	1	5	6	11	1	4	9	13	1	8	2	10	1	10	4	14	1	41	29	70	6
菅谷小学校	1		1		1		1		1	1	2		1	1	2		1	1	2		1	1	2		2	2	4	2
菅谷小学校	3	4	7	1	1	2	3	1	4	4	8	複式1	1	2	3	—	3	3	6	複式1	2		2	—	14	15	29	4
菅谷小学校	11	5	16	1	10	10	20	1	6	11	17	1	6	9	15	1	10	6	16	1	4	3	7	1	47	44	91	6
菅谷小学校	2		2		3		3		1		1		1		1		1		1						8		8	2
菅谷小学校	12	15	27	1	12	11	23	1	13	9	22	1	11	10	21	1	12	16	28	1	17	8	25	1	77	69	146	6
菅谷小学校	1	1	2		1		1		1	1	2		1	1	2		1	1	2		1	1	2		1	2	3	1
菅谷小学校	5	6	11	1	6	4	10	1	8	3	11	1	5	5	10	1	6	9	15	1	9	10	19	1	39	37	76	6
菅谷小学校	1		1		2		2		1		1		2		2		2		2		2		2		8		8	2
菅谷小学校	8	2	10	1	7	13	20	1	12	12	24	1	6	6	12	1	15	7	22	1	13	10	23	1	61	50	111	6
菅谷小学校	6	1	7		3	1	4		1	1	2		2	1	3		2		2		2	2	4		14	6	20	3
菅谷小学校	19	19	38	2	22	29	51	2	22	23	45	2	21	21	42	2	15	24	39	1	20	24	44	2	119	140	259	11
合計	43	22	65	32	41	13	54	34	47	16	63	30	32	10	42	30	41	11	52	31	35	11	46	29	239	83	322	66
	347	373	720		383	384	767		382	400	782		331	388	719		380	369	749		385	353	738		2208	2267	4475	186

※ 2段書きの上段の数値は特別支援学級在籍生徒数であり、下段の数値は通常学級生徒・児童数である。

(中学校)

(令和1.5.1現在)

区分 学校名	1 年				2 年				3 年				合 計			
	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数
本丸中学校	8	5	13		4	4	8		5	3	8		17	12	29	5
	83	83	166	5	71	79	150	5	81	76	157	5	235	238	473	15
第一中学校	2	2	4		5		5		8	3	11		15	5	20	4
	60	51	111	4	59	58	117	4	63	63	126	4	182	172	354	12
猿橋中学校	7	2	9		5	1	6		2	2	4		14	5	19	5
	101	83	184	6	87	92	179	6	80	86	166	5	268	261	529	17
東中学校	4	4	8		2		2		3		3		9	4	13	2
	41	29	70	2	34	32	66	2	27	27	54	2	102	88	190	6
川東中学校	2		2		5		5		3		3		10		10	2
	10	13	23	1	17	12	29	1	9	14	23	1	36	39	75	3
七葉中学校	3		3		3		3		3		3		9		9	2
	18	24	42	2	22	22	44	2	19	19	38	2	59	65	124	6
佐々木中学校									2		2		2		2	1
	16	5	21	1	13	6	19	1	10	9	19	1	39	20	59	3
豊浦中学校	1		1		4	1	5						5	1	6	2
	25	26	51	2	24	25	49	2	15	18	33	1	64	69	133	5
紫雲寺中学校	2		2		2	4	6		4		4		8	4	12	2
	25	32	57	2	28	35	63	2	24	30	54	2	77	97	174	6
加治川中学校	1		1		1		1						2		2	1
	20	23	43	2	18	14	32	1	26	21	47	2	64	58	122	5
合 計	30	13	43		31	10	41		30	8	38		91	31	122	26
	399	369	768	27	373	375	748	26	354	363	717	25	1,126	1,107	2,233	78

※ 2段書きの上段の数値は特別支援学級在籍生徒数であり、下段の数値は通常学級生徒・児童数である。

12 教員・児童・生徒数の推移

(単位：人、学級)

区分		H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		教員数	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数
小学校	教員数	285	288	275	289	286	339	340	430	369	384	374	369	375	370	351	356	338	359	354	357	356	362
	児童数	5,419	5,253	5,147	5,083	4,934	5,364	5,195	5,938	5,770	5,673	5,520	5,414	5,327	5,201	5,081	4,968	4,864	4,798	4,725	4,828	4,830	4,797
	学級数	191	187	183	194	192	208	207	257	255	253	248	247	248	246	253	253	245	242	241	248	248	252
中学校	教員数	175	178	178	180	169	205	210	255	238	230	222	217	210	214	208	214	207	221	213	211	209	212
	生徒数	2,997	2,964	2,878	2,786	2,745	2,990	2,948	3,307	3,241	3,116	3,023	2,884	2,783	2,793	2,745	2,757	2,668	2,623	2,479	2,375	2,328	2,355
	学級数	91	92	90	87	84	96	96	108	108	103	103	99	97	99	102	102	105	107	105	103	105	104

※ 教員数は、学校基本調査に基づき当該年度の5月1日における校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭の人数とし、産休、育休、休職、派遣・長期研修、組合専従者は含まない。

H15年度は旧豊浦町との、H17年度は旧紫雲寺町・加治川村との合併年である。

13 特別支援学級設置状況の推移

(単位：人、学級)

区分		H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度																									
		人		学		人		学		人		学		人		学		人		学		人		学																								
		数	級	数	級	数	級	数	級	数	級	数	級	数	級	数	級	数	級	数	級	数	級	数	級																							
小学校	知的	19	7	21	8	22	8	28	9	30	9	24	9	24	10	29	12	33	12	31	11	34	11	37	12	50	13	50	13	70	16	76	16	71	16	71	17	70	15	90	19	105	23	116	26			
	言語																																															
	肢体	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1																																					
	病弱																																															
	弱視																																															
	情緒	14	4	13	4	10	4	8	4	12	5	11	6	9	4	26	10	41	12	50	12	74	16	89	19	97	19	108	22	111	23	130	25	145	28	151	30	154	31	167	33	173	35	200	37			
小計	35	12	35	13	33	13	38	14	43	15	35	15	34	15	58	25	77	27	84	25	112	29	132	33	152	34	161	36	183	40	209	43	219	47	224	49	226	48	259	54	282	60	322	66				
中学校	知的	14	4	13	4	11	4	9	4	7	3	13	6	15	7	19	8	18	8	18	7	17	7	18	7	25	7	27	7	36	8	34	7	38	9	32	9	40	10	39	11	54	13	56	11			
	肢体	4	1	3	1	2	1	1	1																																							
	病弱																																															
	弱視																																															
	情緒	2	1	2	1	2	1	2	1	3	1	4	1	8	3	7	3	5	2	4	1	7	2	20	4	23	5	41	7	46	9	53	11	62	11	64	13	60	13	60	13	65	13	64	13			
小計	20	6	18	6	15	6	12	6	10	4	18	8	24	11	27	12	23	10	23	9	25	10	39	12	49	13	70	15	85	18	88	19	101	21	96	22	100	23	99	24	121	28	122	26				
合計	55	18	53	19	48	19	50	20	53	19	53	23	58	26	85	37	100	37	107	34	137	39	171	45	201	47	231	51	268	58	297	62	320	68	320	71	326	71	358	78	403	88	444	92				

14 いじめ・不登校の推移

いじめの発生件数(認知件数)の推移

年度	新発田市小学校：1校あたりの件数		新潟県小学校：1校あたりの件数		新発田市中学校：1校あたりの件数		新潟県中学校：1校あたりの件数	
21年度	23件	0.96件	440件	0.8件	38件	3.8件	726件	3.0件
22年度	22件	0.91件	454件	0.8件	27件	2.7件	601件	2.5件
23年度	18件	0.75件	330件	0.6件	27件	2.7件	458件	1.9件
24年度	64件	2.66件	719件	1.4件	33件	3.3件	698件	2.9件
25年度	40件	1.66件	576件	1.1件	57件	5.7件	713件	3.1件
26年度	41件	1.86件	721件	1.5件	60件	6.0件	656件	2.8件
27年度	54件	2.57件	1,685件	3.5件	68件	6.8件	1,138件	4.8件
28年度	33件	1.57件	7,897件	16.8件	39件	3.9件	1,746件	7.9件
29年度	47件	2.24件	14,882件	32.4件	27件	2.7件	2,339件	10.3件
30年度	88件	4.63件			44件	4.4件		

* 1校あたりの件数＝発生件数(認知件数)÷学校数

* 18年度から文部科学省の「いじめの定義」が変わり、「発生件数」から「認知件数」に変更になった。そのため、本人の訴えがあったものはすべて件数に含めている。

* 24年度は文部科学省のいじめの緊急調査があり、いじめについて積極的に認知していこうということから大幅増になっている。

* 26年度は文部科学省のいじめの再調査があり、件数は再調査後の修正した数値である。

* 27年度は文部科学省がいじめによる自殺等を受け、「いじめ防止対策推進法」制定の趣旨を踏まえ、より厳しく認知することとしたため増加している。

* 30年度の県は未発表

不登校児童生徒数の推移

年度	新発田市小学校	発生率	新潟県小学校	発生率	新発田市中学校	発生率	新潟県中学校	発生率
21年度	17名	0.31%	402名	0.31%	80名	2.77%	1,765名	2.61%
22年度	19名	0.35%	446名	0.36%	74名	2.70%	1,713名	2.60%
23年度	15名	0.29%	410名	0.33%	62名	2.22%	1,719名	2.61%
24年度	11名	0.21%	343名	0.29%	48名	1.74%	1,639名	2.54%
25年度	7名	0.14%	403名	0.34%	65名	2.35%	1,676名	2.64%
26年度	13名	0.26%	435名	0.38%	65名	2.43%	1,673名	2.68%
27年度	11名	0.22%	456名	0.40%	68名	2.59%	1,614名	2.67%
28年度	18名	0.35%	473名	0.43%	78名	3.15%	1,696名	2.88%
29年度	15名	0.31%	560名	0.51%	74名	3.12%	1,759名	3.04%
30年度	22名	0.45%			81名	3.48%		

* 発生率(欠席30日以上)＝不登校児童生徒数÷在籍児童生徒数×100

* 19年度以降の県の数値は、中等教育学校前期課程を含む。

* 30年度の県の件数は未発表

15 社会教育関係施設一覧

施設名	所在地	電話
住吉教育集会所	住吉町2-3-30	26-5984
紫雲寺漁村民俗資料館	藤塚浜3585-110	22-9534 (文化行政課文化行政係)
加治川展示室	下小中山1107	26-2163 (文化行政課埋蔵文化財係)
市立中央図書館	諏訪町1-2-12 (新発田駅前複合施設イクネスしばた内)	22-2418
市立歴史図書館	中央町4-11-27	24-2100
中央公民館	中央町4-11-7 (事務室は、中央町5-8-47 生涯学習センター内)	(22-8516)
五十公野分館 (五十公野コミュニティセンター)	五十公野4930-1	26-8139
松浦分館 (松浦農村環境改善センター)	法正橋676	26-3392
米倉分館 (米倉農村環境改善センター)	米倉1419	28-5204
赤谷分館	上赤谷2689	28-2341
川東分館 (川東コミュニティセンター)	下羽津1908	25-2025
菅谷分館 (菅谷コミュニティセンター)	菅谷3350	29-2002
加治分館 (七葉コミュニティセンター)	三日市862	24-0778
佐々木分館 (佐々木コミュニティセンター)	則清956-1	27-6627
青少年宿泊施設 (あかたにの家)	上赤谷2173	28-2116
豊浦地区公民館	乙次26-2	22-2081
紫雲寺地区公民館	稲荷岡2371	41-2291
大島分館	大中島37	41-2974
西部分館	真野原外1536-3	41-2336
加治川地区公民館	住田547-1	33-2433
中川分館	押廻1447	22-0657
金塚分館	下小中山328	33-2414
生涯学習センター	中央町5-8-47	26-7191
市民文化会館	中央町4-11-7	26-1576
青少年健全育成センター 児童センター	緑町2-6-36	26-0897
紫雲寺児童館	稲荷岡2371	41-3114
加治川児童館	川口128-1	39-6016

16 指定文化財一覧

平成31年4月15日現在

区分	番号	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者(管理者)	備考
国	うち重要文化財	1	建 新発田城表門・旧二の丸隅櫓 附 表門板札、隅櫓棟札	2棟	昭和32年6月18日	大手町6	文部科学省 (新発田市)	表門享保17年(1732) 隅櫓寛文8年(1668)
		2	建 旧新発田藩足軽長屋	1棟	昭和44年12月18日	諏訪町3	(一財)北方文化博物館	天保13年 (1842)
		3	考 新潟県村尻遺跡出土品	土偶形容器 1点 土器14点 骨垂飾2点 附石片1点	平成25年6月19日	新潟県立歴史 博物館 (長岡市関原町1)	新発田市 (新潟県立歴史博物 館)	弥生前期～中期
	4	史 奥山荘城館遺跡 金山城跡	4遺跡	平成6年3月30日	金山	個人、国、新潟県、 新発田市	鎌倉期～室町期	
	5	名 旧新発田藩下屋敷(清水谷御殿) 庭園および五十公野御茶屋庭園		平成15年8月27日	大柴町7 五十公野	(一財)北方文化博物 館、 新発田市・豊田神社	下屋敷寛文6年(1800) 庭園文化11年(1814)	
	6	天 檜平サクラ樹林	1,000本以上	昭和9年1月22日	貝屋	国(農林水産省)		
	7	天 ヤマネ		昭和50年6月26日				
	8	天 ヒシクイ		昭和46年6月28日				
	9	天 マガン		昭和46年6月28日				
	10	特天 カモンカ		昭和30年2月15日	飯豊山地			
県	1	建 市島家住宅	12棟1構	昭和37年3月29日	天王	新発田市	江戸末期～明治期	
	2	彫 木造薬師如来立像	1軀	昭和33年3月5日	西名柄	龍藏寺	鎌倉前期	
	3	彫 木造地藏菩薩立像 附 地藏尊縁起1卷	1軀	平成28年3月25日	諏訪町2	宝光寺	鎌倉期	
	4	古 市島家文書	16,528点	昭和47年3月28日	新潟県立文書館 (新潟市中央区女池町)	新発田市	近世	
	5	古 正保越後国絵図(元禄年間写) 附 古絵図3鋪	1鋪	平成8年3月29日	中央町4	市立歴史図書館	江戸中期	
	6	考 大沢経塚出土品	一括	昭和56年3月27日	小舟町2	大沢区ほか5区 (市教育委員会)	平安後期	
	7	考 鉦鼓	1口	昭和57年3月26日	福島	個人	鎌倉後期 (正和元年)	
	8	歴 旧新発田町上水道敷設関係資料	一括48点	平成15年3月28日	下内竹	新発田市	近現代(明治末期 ～昭和中期)	
	9	風慣 ショウキ祭り(浦の正貴祭り)		平成17年3月25日	浦	力行講社講中	明治後期	
	10	天 貝屋のお葉附イチョウ樹	2本	昭和31年3月23日	貝屋	個人		
市	1	建 宝光寺山門 附 棟札、山門絵図	1棟	昭和50年8月1日	諏訪町2	宝光寺	弘化2年(1845)	
	2	建 旧新発田藩石黒家住宅	1棟	平成11年8月4日	大柴町7	(一財)北方文化博物館	江戸後期	
	3	建 紫雲閣(旧白勢家観音堂)	1棟	平成23年12月7日	中央町1	個人	明治35年(1902)	
	4	建 宝光寺経蔵	1棟	平成27年4月3日	諏訪町2	宝光寺	江戸期	
	5	建 菅谷寺本堂及び山門 附 本堂棟札、山門棟札、山門版 木	本堂1棟 山門1棟 本堂棟札2枚 山門棟札2枚 山門版木1枚	平成27年4月3日	菅谷	菅谷寺	江戸期	
	6	建 間藤家住宅 主屋及び土蔵並びに門小 屋 附 主屋棟札及び土蔵棟札	主屋1棟 土蔵1棟 門小屋1棟 主屋棟札1枚 土蔵棟札1枚	平成28年4月5日	古田	個人	江戸末期、明治期	
	7	絵 新発田藩歴代藩主肖像画	13幅	昭和49年3月15日	諏訪町2、 中央町2	宝光寺、 託明寺	江戸期	
	8	絵 陣立図屏風	1双	昭和52年4月9日	中央町4	市立歴史図書館	江戸期	

区分	番号	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者(管理者)	備考
市	9	彫	木造阿弥陀如来立像	1軀	昭和52年4月9日	諏訪町2	宝光寺	鎌倉期
	10	彫	木造十一面観音坐像	1軀	昭和57年7月8日	下中	若宮八幡宮	鎌倉期
	11	工	銅製孔雀文髹	1面	平成6年1月5日	岡田	法音寺	鎌倉期
	12	工	諏訪神社神輿	2基	平成29年5月2日	諏訪町2	諏訪神社	江戸期・明治期
	13	古	新発田藩御記録	25冊	昭和48年3月31日	中央町4	市立歴史図書館	江戸期
	14	古	聿修碑	1基	昭和49年11月13日	上赤谷	上赤谷区	宝永7年(1710)
	15	古	竹前家文書	21点	平成17年5月1日	米子	個人	江戸中期
	16	古	神田家文書	11点	平成17年5月1日	大中島	個人	江戸中期～後期
	17	古	宮川家文書	13点	平成17年5月1日	中央町4	個人	江戸中期～後期
	18	古	伊藤家文書	11点	平成17年5月1日	住田	個人	江戸期
	19	古	新発田藩江戸上屋敷文書	418点	平成21年3月4日	中央町4	市立歴史図書館	江戸期
	20	考	板山中野遺跡出土品	5個	昭和49年3月15日	下小中山、住吉町1	市教育委員会	縄文後期
	21	考	蔵光十二林遺跡出土品	3個	昭和55年3月27日	蔵光	個人	縄文後期
	22	考	法音寺大日堂五輪塔	1基	昭和63年2月24日	岡田	法音寺	鎌倉末期
	23	考	蚤取橋遺跡出土古墳時代木製品	7点	平成22年12月2日	下小中山	市教育委員会	古墳後期
	24	考	宝積寺館跡出土墨書板碑	1点	平成22年12月2日	住吉町1	市教育委員会	室町期～戦国期(16世紀中頃)
	25	考	山草荷遺跡出土弥生土器	19点	平成26年1月8日	小舟町2	個人(市教育委員会)	弥生中期
	26	歴	新発田藩政資料	1,908点	昭和49年3月15日	中央町4	市立歴史図書館	江戸期
	27	歴	菅谷寺算額	1面	昭和50年3月31日	菅谷	菅谷寺	享和元年(1801)
	28	歴	白勢檢校遺品	5点	昭和51年3月23日	諏訪町3	個人	江戸後期
	29	歴	新発田藩学資料	3,250点	昭和51年3月23日	中央町4	市立歴史図書館	江戸期
				6点	追加昭和52年4月9日	中央町4	市立歴史図書館	
				2点	追加昭和52年4月9日	中央町4	豊田神社	
	30	歴	丹羽伯弘資料	214点	昭和52年4月9日	中央町4	市立歴史図書館	江戸後期
	31	歴	藤戸神社算額	1面	昭和54年2月7日	大柴町7	藤戸神社(一財)北方文化博物館	明治33年(1900)
	32	歴	上館八幡宮算額	1面	昭和55年3月27日	上館	八幡宮	文政12年(1829)
	33	歴	丸田正通和算資料	115点	昭和56年3月25日	中央町4	市立歴史図書館	江戸後期
	34	歴	新発田藩版の版木	1,192枚	平成21年3月4日	諏訪町2、中央町4	宝光寺、市立歴史図書館	江戸期
	35	歴	奉先堂扁額	1面	平成22年12月2日	中央町4	豊田神社	江戸期
	36	歴	新発田藩主溝口家花押印、印章及び丹羽長重印章	30顆	平成22年12月2日	中央町4、五十公野	豊田神社	江戸期
	37	歴	赤徳四十七士木像及び長徳寺義士堂附「義士堂」扁額、天井書画、堀部安兵衛銅像、「萬山不重」額	47軀1棟	平成26年1月8日	大柴町2	武庸会、長徳寺	赤徳四十七士木像 明治以前 長徳寺義士堂 昭和4年
	38	歴	五十公野館跡出土 観音立像	1体	平成31年3月5日	小舟町2	新発田市	中世

区分	番号	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者(管理者)	備考
市	39	有民	しばた台輪 附 額面繻、繻、幣束	台輪6基 額面繻など10点 繻1点	昭和47年6月1日 追加平成3年4月3日 追加平成22年3月3日	諏訪町1、御幸町1、大栄町2、大栄町7、諏訪町1	上町町内会、下町町内会、四之町町内会、三之町町内会、両町町内会、泉組台輪保存会	江戸期
	40	有民	職人町額面繻	1点	平成3年4月3日	御幸町1	職人町町内会	江戸期
	41	無民	職人町獅子舞		平成12年8月17日	御幸町1	職人町獅子保存会	享保17年(1732)
	42	無民	稲荷岡神楽		平成17年5月1日	稲荷岡地区	稲荷岡神楽保存会	
	43	無民	五ヶ字神楽		平成17年5月1日	五ヶ字地区	五ヶ字神楽連	
	44	無民	下小中山獅子舞		平成17年5月1日	下小中山	下小中山獅子組	
	45	史	旧会津街道一里塚	1基	昭和48年1月19日	上赤谷	市教育委員会	江戸期
	46	史	新発田城跡	1構	平成14年1月7日	大手町6	財務省、新発田市	江戸期
	47	史	新発田藩主溝口家墓所		平成21年3月4日	諏訪町2	個人(宝光寺)	江戸期
	48	史	加治城跡	1構	平成28年4月5日	黒岩・東宮内	新発田市他9名	中世
	49	史	溝口勝政墓	1基	平成22年12月2日	中央町2	個人(託明寺)	安土桃山期
	50	天	滝沢のミズパショウ群落		平成15年7月7日	滝沢	滝沢地区	
51	天	旧会津街道松並木	アカマツ13本	平成26年1月8日	大槻	市教育委員会	江戸期	

(種別)

【特天】特別天然記念物・【建】建造物・【絵】絵画・【彫】彫刻・【工】工芸品・【古】古文書・【考】考古資料・【歴】歴史資料
【有民】有形民俗文化財・【無民】無形民俗文化財・【風慣】風俗慣習・【史】史跡・【名】名勝・【天】天然記念物

17 国登録文化財一覧

種別	番号	名称	登録年月日	所在地	所有者(管理者)	備考
有	1	石崎家住宅(石泉荘)離れ座敷	平成19年10月2日	諏訪町3	個人	明治38年
有	2	石崎家住宅(石泉荘)茶室	平成19年10月2日	諏訪町3	個人	明治28年
名	3	旧石崎氏庭園(石泉荘庭園)	平成23年9月21日	諏訪町3	個人	明治期
有	4	吉原写真館	平成29年10月27日	大手町2	個人	昭和11年/昭和47年増築
有	5	平久呉服店店舗兼主屋	平成29年10月27日	御幸町1	個人	昭和10年頃/昭和57年改修
有	6	長徳寺本堂	平成29年10月27日	大栄町2	長徳寺	嘉永3年(1850)/昭和58年改修
有	7	長徳寺庫裏	平成29年10月27日	大栄町2	長徳寺	明治中期
有	8	長徳寺行在所	平成29年10月27日	大栄町2	長徳寺	大正10年移築
有	9	長徳寺鐘楼	平成29年10月27日	大栄町2	長徳寺	昭和前期
有	10	長徳寺山門及びひ堀	平成29年10月27日	大栄町2	長徳寺	天保12年(1841)
有	11	三光寺本堂	平成29年10月27日	諏訪町2	三光寺	大正5年/平成11年改修
有	12	顕法寺本堂	平成29年10月27日	大栄町2	顕法寺	明治43年/平成15年改修
有	13	すきやき八木店舗	平成30年11月2日	中央町3	個人	昭和10年頃/昭和15年増築、昭和40年・平成15年改修
有	14	肥田野家住宅主屋	平成30年11月2日	米倉	個人	大正10年/昭和前期・平成2年・同18年改修

(種別) 【有】登録有形文化財(建造物)・【名】登録記念物(名勝地)

18 社会教育施設利用状況

(1) 青少年宿泊施設「あかたにの家」

年度	利用団体数			利用者数		
		市内	市外		宿泊	日帰り
H29	109 件	103 件	6 件	3,127人	1,115人	2,012人
H30	95 件	90 件	5 件	2,813人	1,153人	1,660人

(2) 学校開放（特別教室）

(単位：人)

学 校 名	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	利用団体数	利用人数	利用団体数	利用人数	利用団体数	利用人数	利用団体数	利用人数	利用団体数	利用人数
外ヶ輪小学校	141	3,041	127	4,047	115	2,254	93	1,744	96	1,924
猿橋小学校	0	0	3	210	0	0	0	0	0	0
御免町小学校	55	617	78	886	104	1,429	112	1,744	104	2,004
紫雲寺中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	196	3,658	208	5,143	219	3,683	205	3,488	200	3,928

19 文化財公開状況

(1) 新発田城（国指定重要文化財建造物・市指定史跡）

(単位：人)

年度	日数	市 内	市 外	その他 団体	計	備 考
H25	258	9,826	40,589	0	50,415	4/1～11/30、3/18～31毎日公開
H26	255	11,972	44,611	0	56,583	4/1～11/30、3/21～31毎日公開
H27	257	8,915	43,814	0	52,729	4/1～11/30、3/19～31毎日公開
H28	258	8,123	46,324	0	54,447	4/1～11/30、3/18～31毎日公開
H29	259	6,030	45,271	0	51,301	4/1～11/30、3/17～31毎日公開
H30	259	6,000	41,992	0	47,992	4/1～11/30、3/17～31毎日公開

(2) 五十公野御茶屋庭園（国指定名勝）

(単位：人)

年度	日 数	市 内	市 外	計	備 考
H25	212	2,175	708	2,883	4/1から11/30まで月曜日を除く毎日公開 茶会等利用団体3件
H26	182	1,337	782	2,119	4/1から10/26まで月曜日を除く毎日公開 茶会等利用団体2件
H27	88	1,379	1,284	2,663	8/20から11/30まで月曜日を除く毎日公開
H28	210	1,915	1,311	3,226	4/1から11/30まで月曜日を除く毎日公開 茶会等利用団体3件
H29	212	1,921	1,293	3,214	4/1から11/30まで月曜日を除く毎日公開 茶会等利用団体4件
H30	212	1,283	1,092	2,375	4/1から11/30まで月曜日を除く毎日公開 茶会等利用団体3件

20 平成30年度中央図書館運営実績

1 蔵書数

(1) 図書館資料（中央図書館・分館・配本所）

分類		項目	受入数		除籍数	蔵書数	構成比
			受入	(うち寄贈)			
図書受入・ 除籍及び 蔵書数	0	総記	585	280	62	17,174	6.22%
	1	哲学	328	48	5	7,995	2.90%
	2	歴史	747	105	304	23,215	8.41%
	3	社会科学	1,095	129	89	29,668	10.75%
	4	自然科学	861	47	43	18,859	6.83%
	5	技術	841	36	51	17,836	6.46%
	6	産業	279	22	21	7,884	2.86%
	7	芸術	2,022	255	87	49,012	17.76%
	8	言語	147	11	5	3,696	1.34%
	9	文学	3,400	470	139	100,674	36.47%
		計	10,305	1,403	806	276,013	100%

(2) 視聴覚資料（中央図書館・分館）

① CDほか

分類		項目	受入数		除籍数	保有数
			受入数	(うち寄贈)		
		レコード	0	0	0	0
		C D	116	68	2	4,322
		L D	0	0	0	0
		D V D	65	15	2	816
		ビデオ	1	1	1	823
		カセット	0	0	0	631
		計	182	84	5	6,592

② マイクロフィルム

項目 \ 分類	受入数	保有巻数	内訳
新潟日報	24	981	自 S53. 4. 1 ~ 至 H31. 3. 31
新発田新聞		72	自 S 9. 2. 1 ~ 至 S15. 9. 25
新下越		1	自 S29. 3. 19 ~ 至 S29. 12. 10
週間タイムス		1	自 S25. 12. 6 ~ 至 S27. 10. 29
北越時報		1	自 S27. 11. 10 ~ 至 S27. 12. 18
計	24	1,056	

(3) 逐次刊行物及びその他資料

項目		購入	寄贈	計
新聞	日刊誌	8	3	11
	週刊誌	2	3	5
	不定期	0	3	3
雑誌		187	22	209
加除		11	0	11

(4) 商用データベース

項目	利用可能端末数
官報情報検索サービス	1
日経テレコン21	1
ヨミダス歴史館（平成31年3月31日まで）	1
新潟日報記事データベースサービス	1

2 中央図書館利用状況（開館日数300日）

(1) 利用人員数

	一般	中・高生	児童	計	一日平均
個人	83,462	3,022	15,139	101,623	338.7
団体	—	—	—	893	3.0

(2) 図書貸出冊数

	一般図書	児童図書	雑誌	計	一日平均
個人	161,284	109,665	21,467	292,416	974.7
団体	145	3,961	82	4,188	14.0

(3) 視聴覚資料貸出数

	LP	CD	DVD	ビデオ	カセット	計	一日平均
点数	3	11,473	6,006	230	0	17,712	59.0

(4) 新規登録人員数

	一般	中・高生	児童	計	一日平均
個人	1,393	103	429	1,925	6.4
団体	—	—	—	5	0.0
年度末登録者数(個人)	24,272	2,875	3,489	30,636	—
年度末登録者数(団体)	—	—	—	161	—

(5) 資料予約数

	一般図書	児童図書	雑誌	視聴覚資料	計	一日平均
個人	6,157	970	431	190	7,748	25.8
団体	74	94	6	—	174	0.6

3 分館等利用状況

	松浦分室		五十公野分室		川東分室		佐々木分室		豊浦分館		紫雲寺分館		加治川分館		計	
	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数	利用者	貸出冊数
児童	366	369	152	186	3	5	232	399	116	914	142	742	262	2,447	1,273	5,062
一般	48	117	480	1,305	138	415	32	57	819	1,483	567	979	1,677	4,498	3,761	8,854
									(1)	(3)	(1)	(1)	(17)	(93)	(19)	(97)
合計	414	486	632	1,491	141	420	264	456	935	2,397	709	1,721	1,939	6,945	5,034	13,916
									(1)	(3)	(1)	(1)	(17)	(93)	(19)	(97)

()はうち団体数

21 平成30年度歴史図書館運営実績

1 蔵書数

(1) 図書館資料

項目 分類		受入数		除籍数	蔵書数	構成比	
		受入	(うち寄贈)				
図書受入・ 除籍及び 蔵書数	0	総記	637	497	0	3,465	12.50%
	1	哲学	75	13	0	1,336	4.82%
	2	歴史	1,604	817	0	12,115	43.69%
	3	社会科学	354	132	0	1,641	5.92%
	4	自然科学	48	13	0	430	1.55%
	5	技術	79	34	0	285	1.03%
	6	産業	71	25	0	328	1.18%
	7	芸術	384	327	0	2,357	8.50%
	8	言語	38	4	0	529	1.91%
	9	文学	99	2	1	5,240	18.90%
	計		3,389	1,890	1	27,726	100%

(2) 視聴覚資料

項目 分類		受入数		除籍数	保有数
		受入数	(うち寄贈)		
レコード		0	0	0	3,000

(3) 逐次刊行物及びその他資料

項目	購入	寄贈	計
新聞	0	0	0
雑誌	13	3	16

(4) データベース

項目	利用可能端末数
インターネット	4
古文書検索	2
にいがたMALUI連携・地域データベース	1
国立国会図書館デジタルコレクション	1

(5) デジタルアーカイブ

項目	計
郷土資料目録 11分類（郷土第1、第2、溝口伊織家文書他）	7,531件
ガイダンス映像（短編「蒲原平野の開拓」「新発田城とその城下町」他）	5本
「人物アーカイブ」（堀部安兵衛、大倉喜八郎、坪川洵平、蒔谷虹児他）	61人
「漢籍データベース 四部分類」（経部、史部、子部、集部）	1,234件

2 歴史図書館入館者数・貸出冊数等（開館日数224日 平成30年7月7日開館）

(1) 入館人数

	一般	中・高生	児童	計	一日平均
個人	14,680	50	100	14,830	66.2

(2) 図書貸出冊数（雑誌含む）

	一般図書	一日平均
個人	1,807	8.1

(3) レファレンス件数

	一般図書	一日平均
個人	288	1.3

(4) 視聴覚資料貸出数

	LP	一日平均
点数	73	0.3

(5) 古文書等閲覧件数

	古文書等閲覧件数	延べ人数
個人	508	110

(6) 新規登録人員数

	一般	中・高生	児童	計
個人	38	0	0	38

22 公民館施設等利用状況

1 公民館等利用状況

(単位：回、人)

施設	H26		H27		H28		H29		H30	
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
中央公民館	2,315	31,175	2,454	31,568	2,522	37,805	2,419	42,415	2,303	37,660
豊浦地区公民館	2,135	45,794	2,328	44,613	2,312	50,451	2,180	45,643	2,402	47,562
紫雲寺地区公民館	650	9,923	754	9,830	880	9,222	854	8,986	923	11,107
加治川地区公民館	851	11,191	897	11,326	785	10,669	761	7,887	609	8,578
生涯学習センター	2,459	97,072	2,310	102,302	2,102	93,272	1,953	84,660	2,060	95,089

2 分館利用状況

(単位：回、人)

施設	H26		H27		H28		H29		H30	
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
中央公民館分館合計	4,641	64,824	4,825	68,944	5,266	74,828	5,528	70,430	5,475	69,421
五十公野分館	1,694	14,997	1,826	15,939	1,988	17,167	2,115	17,112	2,229	17,971
松浦分館	393	8,160	340	7,088	310	6,433	329	7,351	245	6,249
米倉分館	154	2,891	125	2,499	147	3,604	148	2,708	152	2,658
赤谷分館	405	3,613	354	2,833	340	2,739	348	2,982	246	2,488
菅谷分館	1,009	16,140	1,067	15,982	1,054	16,947	1,015	14,382	960	14,638
加治分館	381	7,654	516	12,312	829	15,676	1,003	14,314	1,084	14,097
佐々木分館	605	11,369	597	12,291	598	12,262	570	11,581	559	11,320
紫雲寺地区公民館分館合計	201	2,220	229	3,883	174	1,756	164	1,630	124	1,364
紫雲寺地区公民館西部分館	91	702	132	2,649	48	375	47	494	22	331
紫雲寺地区公民館大島分館	110	1,518	97	1,234	126	1,381	117	1,136	102	1,033
加治川地区公民館分館合計	1,081	11,323	1,005	10,717	992	10,350	989	9,315	820	8,571
加治川地区公民館中川分館	522	7,161	513	7,108	537	6,694	494	6,875	388	5,505
加治川地区公民館金塚分館	559	4,162	492	3,609	455	3,656	495	2,440	432	3,066
全館計	11,874	176,450	12,492	180,881	12,931	195,081	12,895	186,306	12,656	184,263

23 地区公民館受託管理施設利用状況（体育施設）

（豊浦地区公民館受託施設）

（単位：人）

■真木山中央公園野球場

月	H30年度	H29年度	前年比
4	1,108	966	115%
5	789	978	81%
6	3,985	2,052	194%
7	2,797	3,857	73%
8	1,060	1,066	99%
9	977	850	115%
10	922	647	143%
11	435	304	143%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	12,073	10,720	113%

■真木山中央公園ゲートボール場

月	H30年度	H29年度	前年比
4	27	21	129%
5	0	29	0%
6	0	52	0%
7	180	0	-
8	67	49	137%
9	0	0	-
10	175	840	21%
11	60	0	-
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	509	991	51%

■真木山中央公園多目的練習場

月	H30年度	H29年度	前年比
4	643	637	101%
5	935	533	175%
6	774	547	141%
7	634	584	109%
8	542	546	99%
9	619	601	103%
10	913	802	114%
11	1,030	1,029	100%
12	1,073	1,056	102%
1	1,228	1,014	121%
2	1,209	976	124%
3	1,200	1,202	100%
計	10,800	9,527	113%

■豊浦総合運動施設多目的グラウンド

月	H30年度	H29年度	前年比
4	0	3	0%
5	60	95	63%
6	1,623	343	473%
7	3,753	5,939	63%
8	1,166	2,235	52%
9	2,045	2,764	74%
10	1,502	1,329	113%
11	10	10	100%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	10,159	12,718	80%

■豊浦体育センター

月	H30年度	H29年度	前年比
4	881	776	114%
5	1,062	831	128%
6	0	668	0%
7	980	1,014	97%
8	1,146	1,101	104%
9	982	835	118%
10	1,699	783	217%
11	1,608	1,036	155%
12	1,257	1,457	86%
1	945	895	106%
2	930	949	98%
3	980	1,122	87%
計	12,470	11,467	109%

■豊浦総合運動施設テニスコート

月	H30年度	H29年度	前年比
4	1,001	2,273	44%
5	996	2,346	42%
6	704	1,181	60%
7	887	1,027	86%
8	466	856	54%
9	609	1,158	53%
10	686	1,091	63%
11	515	741	70%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	935	0%
計	5,864	11,608	51%

■豊浦総合運動施設キャンプ場

月	H30年度	H29年度	前年比
4	31	13	238%
5	30	93	32%
6	124	46	270%
7	60	31	194%
8	35	113	31%
9	22	0	-
10	59	35	169%
11	10	2	500%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	371	333	111%

(紫雲寺地区公民館受託施設)

■五ヶ字運動広場

月	H30年度	H29年度	前年比
4	665	884	75%
5	425	569	75%
6	647	594	109%
7	425	666	64%
8	391	492	79%
9	474	451	105%
10	281	856	33%
11	321	262	123%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	224	174	129%
計	3,853	4,948	78%

■大島体育館

月	H30年度	H29年度	前年比
4	363	345	105%
5	314	322	98%
6	264	318	83%
7	372	346	108%
8	476	318	150%
9	260	291	89%
10	273	368	74%
11	481	689	70%
12	314	427	74%
1	310	343	90%
2	591	287	206%
3	282	360	78%
計	4,300	4,414	97%

(加治川地区公民館受託施設)

■加治川地区体育館

月	H30年度	H29年度	前年比
4	1,124	847	133%
5	986	1,356	73%
6	1,668	1,139	146%
7	1,036	1,157	90%
8	1,397	1,016	138%
9	1,249	821	152%
10	1,651	1,638	101%
11	1,976	2,680	74%
12	1,762	1,327	133%
1	1,395	1,074	130%
2	1,323	990	134%
3	1,605	1,039	154%
計	17,172	15,084	114%

■加治川地区屋外運動場

月	H30年度	H29年度	前年比
4	103	74	139%
5	550	17	3235%
6	136	77	177%
7	110	57	193%
8	44	148	30%
9	616	68	906%
10	116	74	157%
11	34	50	68%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	48	101	48%
計	1,757	666	264%

■大天城公園野球場

月	H30年度	H29年度	前年比
4	605	228	265%
5	171	535	32%
6	359	397	90%
7	240	625	38%
8	417	601	69%
9	256	200	128%
10	280	275	102%
11	105	87	670%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	2,433	2,948	83%

■大天城公園テニスコート

月	H30年度	H29年度	前年比
4	73	114	64%
5	75	113	66%
6	82	75	109%
7	93	104	89%
8	87	101	86%
9	85	112	76%
10	60	50	120%
11	35	29	121%
12	0	0	-
1	0	0	-
2	0	0	-
3	0	0	-
計	590	698	85%

2.4 平成30年度市民文化会館事業実績

(1) 自主事業入場者数

(単位：人)

公演名	H26	H27	H28	H29	H30
文化創造事業	4,656	4,894	4,625	4,693	4,415
教育鑑賞事業	10,609	11,858	12,499	12,651	10,200
(うち小・中学校教育鑑賞事業)	(8,000)	(7,866)	(7,582)	(7,642)	(7,565)
全国「花嫁人形」合唱コンクール	1,020	1,280	1,204	1,250	1,006
合計	16,285	18,032	18,328	18,594	15,621

(2) 貸館事業

大ホール	H26	H27	H28	H29	H30
使用日数(日)	131	116	154	160	149
使用件数(件)	318	298	375	404	380
使用可能日数(日)	256	224	329	307	299
使用日率(%)	51.17	51.79	46.81	52.12	49.83
使用件数率(%)	41.41	44.35	37.99	43.87	42.36
入場者数(人)	44,775	37,793	54,141	54,802	44,941

※使用件数率・・・使用件数÷(使用可能日数×3)×100

※平成24年度から平成28年度までの5ヶ年計画により大規模改修を実施したことにより各数値が減少したもの。

一階ホール	H26	H27	H28	H29	H30
使用日数(日)	103	93	121	139	125
使用件数(件)	60	51	81	79	70
使用日率(%)	29.77	26.80	36.77	40.17	36.44
入場者数(人)	4,650	4,416	6,189	6,392	4,569

練習室		H26	H27	H28	H29	H30
練習室1	使用件数(件)	472	581	472	595	544
	使用可能件数(件)	1,041	1,038	1,041	1,038	1,032
	使用件数率(%)	45.34	55.97	45.34	57.32	52.71
	使用者数(人)	4,850	4,951	4,850	5,161	4,994
練習室2	使用件数(件)	510	546	510	574	564
	使用可能件数(件)	1,041	1,038	1,041	1,038	1,032
	使用件数率(%)	48.99	52.60	48.99	55.29	54.65
	使用者数(人)	4,570	4,094	4,570	3,996	4,619
練習室3	使用件数(件)	376	391	376	410	339
	使用可能件数(件)	1,036	1,038	1,036	1,038	1,031
	使用件数率(%)	36.29	37.66	36.29	39.49	32.88
	使用者数(人)	5,969	5,668	5,969	5,353	5,451
合計	使用件数(件)	1,358	1,518	1,358	1,579	1,447
	使用可能件数(件)	3,118	3,114	3,118	3,114	3,095
	使用件数率(%)	43.55	48.74	43.55	50.70	46.75
	使用者数(人)	15,389	14,713	15,389	14,510	15,064

※使用件数・・・各使用区分(午前・午後・夜間)をそれぞれ1件として算出。全日使用=3件

※使用日率・・・(使用日数÷使用可能日数)×100

※使用件数率・・・(使用件数÷使用可能件数)×100

25 青少年健全育成センター等施設一覧

施設名	所在地	電話番号	備考
青少年健全育成センター 児童センター	緑町 2-6-36	26-0897	
紫雲寺児童館	稲荷岡 2371	41-3114	
加治川児童館	川口 128-1	39-6016	
住吉児童クラブ	住吉町 5-4-25	24-5398	
住吉第2児童クラブ	住吉町 5-4-25	22-3860	
東豊児童クラブ	東新町 4-10-34	22-2376	
東豊第2児童クラブ	東新町 4-10-34	22-5152	
こうぬま児童クラブ	緑町 2-6-36	24-5783	
外ヶ輪児童クラブ	中央町 5-8-9	22-3310	
五十公野児童クラブ	五十公野 4930-1	26-8311	
猿橋児童クラブ	中曽根町 3-8-29	22-3314	猿橋小学校敷地内建物 1階
猿橋第2児童クラブ	中曽根町 3-8-29	22-5353	猿橋小学校敷地内建物 2階
御免町児童クラブ	大栄町 4-5-6	26-0473	
御免町第2児童クラブ	大栄町 4-5-33	22-3666	
御免町第3児童クラブ	大栄町 4-5-17	22-4811	御免町幼稚園内
佐々木児童クラブ	則清 956-1	27-1939	
七葉児童クラブ	黒岩 722	29-2241	
紫雲寺児童クラブ	稲荷岡 2371	41-3114	紫雲寺児童館に併設
加治川児童クラブ	川口 128-1	39-6016	加治川児童館に併設
松浦児童クラブ	法正橋 676	23-0313	
豊浦児童クラブ	乙次 26-2	22-2411	
川東児童クラブ	下羽津 1938	25-3939	

26 青少年健全育成センター等利用状況

(1) 育成センター・児童センター・紫雲寺児童館・加治川児童館利用状況 (単位:人)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
センター	26,988	27,442	22,865	31,012	29,531	24,204	21,221	21,657	20,135
紫雲寺	—	—	—	—	—	1,696	1,333	1,525	2,875
加治川	—	—	—	—	—	2,902	2,205	1,710	1,640
合計	26,988	27,442	22,865	31,012	29,531	28,802	24,759	24,892	24,650

(2) 児童クラブ登録児童数 (月平均) (単位:人)

	住吉	住吉第2	東豊	東豊第2	こうぬま	外ヶ輪	五十公野	猿橋	猿橋第2	御免町	御免町第2	御免町第3	佐々木	七葉	紫雲寺	加治川	松浦	豊浦	川東	計
H26	89	—	63	47	79	35	64	54	41	62	46	—	37	30	58	46	27	45	47	870
H27	44	53	63	44	57	61	68	61	49	79	35	—	32	33	62	43	28	43	48	903
H28	54	60	67	52	45	66	70	63	58	72	27	29	40	44	58	53	24	54	39	975
H29	59	71	66	65	59	54	71	83	75	51	34	36	40	52	54	53	35	52	42	1,052
H30	56	72	78	61	57	70	82	92	78	61	32	23	45	53	48	51	20	46	50	1,075

(3) 放課後子ども教室在籍児童数 (月平均) (単位:人)

	二葉	菅谷	外ヶ輪	猿橋	計
H26	19	18	-	-	37
H27	12	20	-	-	32
H28	23	24	-	-	47
H29	33	21	1	-	55
H30	31	15	8	8	62

27 補導活動の状況

(1) 補導活動による行為別・年度別指導数

年度	指導総数(人)	主な指導状況 (人)							巡回日数(日)
		声かけ	ゲーム場	喫煙	服装態度	危険個所遊び	交通ルール無視	その他	
H26	571	557	5	4	0	0	3	2	133
H27	490	470	6	1	0	0	13	0	151
H28	542	535	0	0	0	0	7	0	145
H29	335	322	9	0	0	0	4	0	141
H30	531	500	6	0	0	4	14	7	144

(2) 学校種別・年度別指導数

年度	小学校(人)	中学校(人)	高等学校(人)	その他	割合 (%)			
					小学校	中学校	高等学校	その他
H26	226	161	164	20	39.6	28.2	28.7	3.5
H27	198	133	153	6	40.4	27.1	31.3	1.2
H28	297	148	88	9	54.8	27.3	16.2	1.7
H29	160	111	59	5	47.8	33.1	17.6	1.5
H30	368	96	58	9	69.3	18.1	10.9	1.7